

平成 29 年 度

海老名市政アンケート調査結果



海老名市 市民協働部 地域づくり課 市民相談室

Tel 046-235-4567 (直通)

受付時間 月～金（祝日除く） 8：30から17：15まで



は じ め に

日頃、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、海老名市では「住みたい住み続けたいまち海老名」の実現を目指し、まちづくりを進めています。

今回の調査は、テーマを

みんなでつくろう！「住みたい、住み続けたいまち」として皆さんのご意見をいただきました。

この報告書は、本年５月に１８歳以上の市民の方々の中から等間隔単純無作為方式で抽出した３千人の方に調査協力をお願いし、回答いただいた結果です。

調査結果につきましては、真摯に受けとめ、今後、市政を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査に当たりまして、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後も市政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成２９年９月

海老名市長 内 野 優



目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査票・単純集計結果	
1. 調査票と単純集計結果	4
III. 調査結果の分析	
1. 調査回答者の特性	21
2. 定住性・生活環境	
（1）居住年数	25
（2）住まいに対する考え方.....	26
（3）定住意向・転出意向	26
（4）市内に住みたい理由	28
（5）市外に移りたい理由	29
（6）生活環境と施策の満足度	30
3. ごみ減量化	
（1）減量化やりサイクルへの関心について	36
4. 農業について	
（1）農産物の消費について	40
5. 公共交通	
（1）バスや鉄道の利用頻度	42
6. まちづくり	
（1）海老名駅西口地区、駅周辺のまちづくりについて	44
7. 防災対策	
（1）防災対策に必要なもの	45
（2）避難所の箇所	46
（3）情報入手手段	46
（4）非常食	47
（5）トイレ袋	48
（6）火災報知器	48
（7）感震ブレーカー	49
8. 広報・情報化	
（1）情報源	51
（2）情報媒体のわかりやすさ	52
9. 男女共同参画	
（1）男女共同参画について	53
（2）ワーク・ライフ・バランスについて	54
10. 運転免許証返納制度について	
（1）運転免許所有状況	55
（2）自動車利用理由	56

（３）運転に対する不安について		57
（４）運転免許証返納制度について		57
1 1．海老名市内の施設の知名度		61

I. 調査の概要



1 調査の目的

この調査は、市政に対する市民意識の傾向を把握し、多様化している市民の意見・要望などを調査分析することにより、今後の政策形成の基礎資料とするために、2年に1回、隔年で実施しております。

併せて、市政への直接的な市民参加を促進するものです。

2 調査の内容

- (1) 定住性 (2) 生活環境 (3) ごみ (4) 農業
(5) 公共交通 (6) まちづくり (7) 防災 (8) 広報・情報
(9) 男女共同参画 (10) 運転免許証返納 (11) 市内施設

3 調査の設計

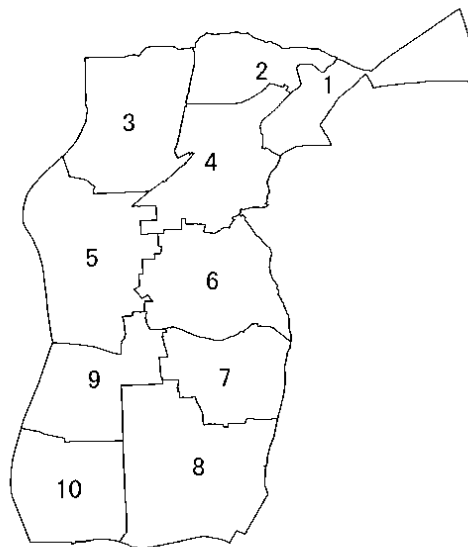
- (1) 調査地域 ：海老名市全域
(2) 調査対象 ：海老名市在住の満18歳以上の男女
(3) 標本数 ：3,000人
(4) 抽出方法 ：等間隔単純無作為抽出法（市の電算機より抽出）
(5) 母集団 ：海老名市住民基本台帳及び外国人登録原票
(6) 調査方法 ：郵送
(7) 調査期間 ：平成29年5月15日～5月31日

4 地域区分

調査結果の集計にあたっては、下記図及び表1のとおり10地域に区分した。

表1 地域区分一覧表

1	柏ヶ谷地域	柏ヶ谷、東柏ヶ谷1～6丁目
2	上今泉地域	上今泉、上今泉1～6丁目
3	上郷・下今泉地域	上郷、上郷1～4丁目、下今泉、下今泉1～5丁目、扇町、泉、めぐみ町
4	国分地域	中央1～3丁目、国分南1～4丁目 国分北1～4丁目、望地1～2丁目、勝瀬
5	海西地域	河原口、さつき町、中新田、中新田1～5丁目
6	大谷地域	大谷、大谷北1～4丁目、大谷南1～5丁目、国分寺台1～5丁目、浜田町
7	杉久保地域	杉久保北1～5丁目、杉久保南1～5丁目
8	本郷地域	上河内、中河内、本郷
9	社家地域	社家、今里
10	門沢橋地域	中野、門沢橋1～6丁目



5 回収結果

地域等	調査対象 人口	(構成比)	対象者数	回答数	回収率
総数	109,269 人	(100.0%)	3,000 人	1,513 人	50.4%
柏ヶ谷地域	18,626 人	(17.0%)	509 人	241 人	47.3%
上今泉地域	10,707 人	(9.8%)	296 人	150 人	50.7%
上郷・下今泉地域	6,154 人	(5.6%)	170 人	83 人	48.8%
国分地域	21,118 人	(19.3%)	590 人	298 人	50.5%
海西地域	15,514 人	(14.2%)	407 人	215 人	52.8%
大谷地域	13,914 人	(12.7%)	390 人	219 人	56.2%
杉久保地域	8,015 人	(7.3%)	220 人	120 人	54.5%
本郷地域	2,747 人	(2.5%)	75 人	40 人	53.3%
社家地域	5,549 人	(5.1%)	152 人	65 人	42.8%
門沢橋地域	6,925 人	(6.3%)	191 人	76 人	39.8%

*調査対象人口は平成29年4月1日現在

*居住地域の設問に対して、無回答が6票あったため、各地域の回答数の合計は、総数に一致していない。

6 この報告書の見方

- (1) 図表中のNは回答者数です。
- (2) 回答比率(%)は、Nを基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しています。
回答比率を100%としているため、カテゴリの1番大きいものに対して小数点以下第1位で加減をしている場合があります。
- (3) 1つの設問に2つ以上選択回答できる「複数回答」の場合には、回答比率の合計が100%を超えます。
- (4) 調査結果の分析の文章には、図表に掲載されている以外の比率も使用されています。

Ⅱ. 調査票・単純集計結果



平成 29 年 度

調査票と単純集計結果



海老名市イメージキャラクター えび～にゃ

今回調査	3,000 件送付	1,513 件回収	回収率	50.4%
H27	5,000 件送付	2,475 件回収	回収率	49.5%

★選択肢項目後の数値は回答者数 N に対する選択率%で、()内は回答者数です。回答者数 N は記載がない限り全回収件数 (1,513) です。

【フェイスシート】 <あなた自身のことについて>

【問1】性別はどちらですか。

	今回	※前回
1. 男 性	46.9 (710)	46.1 (1,140)
2. 女 性	52.6 (796)	53.6 (1,328)
無回答	0.5 (7)	0.3 (7)

【問2】あなたの年齢はおいくつですか。

	今回	※前回
1. 18～24歳	3.6 (54)	3.9 (97)
2. 25～29歳	3.3 (50)	4.4 (108)
3. 30～39歳	12.6 (190)	13.3 (329)
4. 40～49歳	18.4 (278)	17.6 (435)
5. 50～59歳	14.4 (218)	13.2 (328)
6. 60～64歳	9.3 (141)	8.7 (215)
7. 65～74歳	22.5 (342)	23.8 (590)
8. 75歳以上	15.4 (233)	14.3 (354)
無回答	0.5 (7)	0.8 (19)

【問3】お住まいの地域は、どちらですか。

	今回	※前回
1. 柏ヶ谷地域（東柏ヶ谷、柏ヶ谷）	15.9 (241)	16.8 (417)
2. 上今泉地域	9.9 (150)	11.0 (273)
3. 上郷・下今泉地域（上郷、扇町、下今泉、泉、めぐみ町）	5.5 (83)	5.1 (125)
4. 国分地域（中央、国分南、国分北、望地、勝瀬）	19.8 (298)	19.7 (487)
5. 海西地域（河原口、さつき町、中新田）	14.2 (215)	13.7 (339)
6. 大谷地域（大谷、大谷北、大谷南、国分寺台、浜田町）	14.5 (219)	13.3 (330)
7. 杉久保地域（杉久保北、杉久保南）	7.9 (120)	7.4 (183)
8. 本郷地域（上河内、中河内、本郷）	2.6 (40)	2.2 (54)
9. 社家地域（社家、今里）	4.3 (65)	5.0 (124)
10. 門沢橋地域（中野、門沢橋）	5.0 (76)	5.5 (136)
無回答	0.4 (6)	0.3 (7)

【問4】暮らしている家族構成はどれですか。

	今回	※前回
1. 単身世帯	10.3 (156)	9.2 (227)
2. 夫婦のみ	28.8 (435)	30.9 (765)
3. 二世帯世帯（親と子）	49.2 (745)	48.9 (1,210)
4. 三世帯世帯（親と子と孫）	7.6 (115)	7.1 (176)
5. その他	3.5 (53)	2.9 (71)
無回答	0.6 (9)	1.1 (26)

【問5】職業は、次のどれですか。

	今回	※前回
1. 自営業	5.9 (89)	6.1 (150)
2. 会社員等	45.0 (680)	42.6 (1,055)
3. 学 生	2.0 (30)	3.1 (76)
4. 専業主婦・主夫	22.5 (341)	23.3 (577)
5. 無 職	22.2 (336)	23.2 (575)
無回答	2.4 (37)	1.7 (42)

<問5で1自営業、2会社員等、3学生と回答した方(計799人)>

【問5-1】通勤・通学先はどちらですか。(複数回答可) N= 799

	今回	※前回
1. 海老名市内	27.5 (220)	26.5 (339)
2. 近隣市町(厚木、大和、座間、綾瀬、藤沢、寒川)	29.9 (239)	27.1 (347)
3. 横浜市・川崎市	13.5 (108)	16.7 (214)
4. その他神奈川県内	11.9 (95)	11.9 (152)
5. 東京23区	13.1 (105)	11.9 (153)
6. 東京23区以外の都内市町村	1.8 (14)	3.5 (45)
7. その他	3.3 (26)	1.8 (23)
無回答	4.6 (37)	0.6 (8)

【問5-2】通勤、通学手段で利用する市内での移動手段は何ですか。(複数回答可)

	N= 799	今回	※前回
1. 自家用車	43.2 (345)	40.0 (512)	
2. 電車（ＪＲ）	11.4 (91)	14.4 (184)	
3. 電車（小田急）	28.5 (228)	32.5 (416)	
4. 電車（相鉄）	25.8 (206)	28.7 (368)	
5. バス（神奈中）	6.3 (50)	7.7 (99)	
6. バス（相鉄）	10.3 (82)	9.2 (118)	
7. バス（海老名駅～寒川駅間路線バス）	1.0 (8)	新規	
8. コミュニティバス	1.9 (15)	1.8 (23)	
9. 自転車	22.3 (178)	21.0 (269)	
10. 徒歩	43.9 (351)	46.1 (590)	
無回答	6.5 (52)	5.8 (74)	

【定住性・生活環境】

【問6】海老名市に住んで何年になりますか。

	今回	※前回
1. 1年未満	2.1 (32)	2.2 (54)
2. 1年以上5年未満	7.6 (115)	9.1 (224)
3. 5年以上10年未満	7.7 (116)	9.3 (231)
4. 10年以上20年未満	19.6 (296)	18.7 (463)
5. 20年以上30年未満	19.1 (289)	18.6 (460)
6. 30年以上40年未満	20.6 (312)	20.3 (503)
7. 40年以上	21.5 (326)	21.1 (521)
無回答	1.8 (27)	0.7 (18)

【問7】お住まいに対する考え方について

	今回	※前回
1. 自己所有の住宅に住んでいて、これからも自己所有の住宅に住み続けたい	69.2 (1,047)	68.5 (1,694)
2. 自己所有の住宅に住んでいるが、将来は賃貸住宅に住みたい	2.7 (41)	1.9 (47)
3. 賃貸住宅に住んでいるが、将来は自己所有の住宅に住みたい	8.7 (132)	10.0 (248)
4. 賃貸住宅に住んでいて、これからも賃貸住宅に住み続けたい	6.5 (99)	5.3 (131)
5. 親族等と同居しているので、特に考えていない	11.2 (169)	11.3 (280)
無回答	1.7 (25)	3.0 (75)

【問8】あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。

	今回	※前回
1. ずっと住みたい	49.0 (740)	47.3 (1,172)
2. できれば住み続けたい	42.8 (648)	42.3 (1,046)
3. できれば市外に移りたい	6.3 (96)	7.4 (183)
4. すぐにでも市外に移りたい	0.6 (9)	0.7 (18)
無回答	1.3 (20)	2.3 (56)

<問8で「1. ずっと住みたい」「2. できれば住み続けたい」と回答した方(計1,388人)>

【問8-1】市内に住みたい理由 (複数回答可) N= 1,388

	今回	※前回
1. 自分、または家族の家や土地があるから	74.9 (1,039)	72.5 (1,608)
2. 住み慣れて愛着があるから	70.8 (983)	69.4 (1,539)
3. つき合い等の人間関係が良いから	36.0 (500)	36.5 (809)
4. 仕事や学校の関係があるから	18.0 (250)	18.6 (412)
5. 通勤・通学に便利だから	25.3 (351)	24.7 (548)
6. 買い物等生活に便利だから	51.9 (720)	55.6 (1,233)
7. 自然環境が良いから	39.5 (548)	42.5 (943)
8. 公共施設が整っているから	23.4 (325)	25.7 (569)
9. 保健福祉等の施策が良いから	12.4 (172)	12.2 (271)
10. 子育てがしやすいから	9.5 (132)	9.3 (207)
11. その他 ()	3.3 (46)	3.4 (76)
無回答	1.7 (24)	0.3 (6)

<問8で「3. できれば市外に移りたい」「4. すぐにでも市外に移りたい」と回答した方(計105人)>

【問8-2】市外に移りたい理由

(複数回答可)

	N=105	今回	※前回
1. 自分、または家族の家や土地がないから	14.3	(15)	14.4 (29)
2. 周囲の環境が良くないから	20.0	(21)	17.9 (36)
3. つき合い等の人間関係が良くないから	16.2	(17)	7.0 (14)
4. 仕事や学校のある関係があるから	17.1	(18)	14.4 (29)
5. 通勤・通学に不便だから	29.5	(31)	24.9 (50)
6. 買い物等生活に不便だから	22.9	(24)	18.4 (37)
7. 自然環境が悪いから	11.4	(12)	11.9 (24)
8. 公共施設が整っていないから	19.0	(20)	17.4 (35)
9. 保健福祉等の施策が良くないから	6.7	(7)	12.4 (25)
10. 子育てがしにくいから	2.9	(3)	7.5 (15)
11. ほかに住みたい市があるから	49.5	(52)	44.8 (90)
12. その他	26.7	(28)	20.9 (42)
無回答	19.0	(20)	1.0 (2)

【問9】あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況



上段 今回数値（下線は6項目中1番高い値）

下段 前回数値

		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無 回答
生活 環境	ア. 最寄駅へのアクセス（路線バス、コミバス含む）	39.8 23.4	27.8 33.9	9.1 16.8	11.8 12.0	8.1 7.8	1.5 3.3	1.9 2.8
	イ. 買い物等の生活の便利さ	33.9 25.1	36.6 42.3	11.4 14.8	10.6 8.5	5.0 6.1	0.5 0.9	2.0 2.3
	ウ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	24.4 13.1	39.1 33.5	24.1 29.9	4.8 7.9	3.3 4.2	1.4 8.0	2.9 3.4
	エ. ごみ処理と資源回収	35.6 25.6	38.8 42.7	15.3 19.7	5.4 4.4	1.9 2.6	1.1 2.9	1.9 2.1
	オ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	15.5 10.0	27.5 25.3	24.6 30.1	15.0 11.3	12.8 10.7	2.4 9.5	2.2 3.1
福祉	カ. 病院や診療所等の医療施設	19.3 18.7	36.0 37.7	21.3 19.5	13.4 12.8	6.1 7.6	1.5 2.3	2.4 1.4
	キ. デイサービス施設等の高齢者（障がい者）福祉の施設	5.0 4.2	12.8 10.1	31.5 24.8	4.8 5.3	2.9 3.3	39.0 48.1	4.0 4.2
	ク. 中学生までの子どもの医療費全額助成施策	34.7 32.8	12.7 13.3	16.8 12.5	2.1 2.0	1.5 2.1	26.8 30.3	5.4 7.0
整備	ケ. 待機児童解消策等の保育所整備	2.3 2.6	6.9 6.6	27.8 22.2	3.9 6.5	4.6 3.8	48.4 51.1	6.1 7.2
	コ. 体育館や庭球場等のスポーツ施設の整備	11.4 12.4	26.6 28.0	27.9 22.0	7.5 8.5	3.3 5.2	19.1 19.4	4.2 4.5
	サ. 文化会館や図書館等の文化施設の整備	15.9 17.1	35.9 33.7	23.9 21.5	7.7 8.2	4.6 6.1	9.0 10.1	3.0 3.3
	シ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策	9.5 6.7	27.0 24.4	28.4 27.5	17.4 20.4	11.0 13.8	3.6 3.9	3.1 3.3
	ス. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	14.4 11.9	33.6 33.9	25.7 22.7	11.0 14.0	6.9 9.6	5.4 4.2	3.0 3.7
	セ. 幹線道路の整備（南伸道路など市内の主要な道路）	8.1 8.1	24.0 24.2	29.4 27.1	14.3 14.4	7.9 10.7	12.3 11.6	4.0 3.9
	ソ. 生活道路の整備（自宅周辺の幹線道路へ続く道路）	9.8 10.2	26.8 27.6	27.3 25.5	18.7 18.5	10.1 11.4	4.4 3.8	2.9 3.2
	タ. 下水道・排水処理施設の整備	19.5 18.5	31.2 31.7	27.0 26.0	3.7 4.4	3.9 3.4	12.4 13.0	2.3 3.0
	チ. 公園・遊び場の整備	11.6 9.8	27.8 27.3	29.3 29.4	11.3 12.1	6.0 6.7	10.8 11.7	3.2 3.0

上段 今回数値下線は6項目中1番高い値) 下段 前回数値		1 満足	2 やや満足	3 どちらとも 言えない	4 やや不満	5 不満	6 わからない	無 回答
対 策	ツ. 講演会やイベントの開催等の生涯学習施策	3.7 3.8	15.5 14.8	38.7 32.4	6.1 7.0	1.8 3.4	30.0 33.3	4.2 5.3
	テ. 災害に対する体制・対策の整備	5.1 5.5	18.9 21.4	40.8 35.6	6.3 5.7	3.0 2.9	22.5 24.1	3.4 4.8
	ト. 防犯に対する体制・対策	4.0 4.3	17.8 19.2	40.5 37.3	10.2 8.8	3.4 4.3	20.6 22.7	3.5 3.4
	ナ. 企業立地、農業保全等の産業振興施策	2.1 3.0	10.4 9.9	36.7 34.2	5.6 4.9	2.0 2.3	39.0 41.6	4.2 4.1
	ニ. 空き地空き家の適正管理 住宅リフォーム助成等の住宅施策	2.2 2.4	9.1 9.0	36.4 31.3	7.1 8.2	4.4 4.8	37.0 40.8	3.8 3.5
	ヌ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	2.8 2.9	8.6 8.6	31.7 26.0	4.6 4.8	2.6 3.2	44.6 50.4	5.1 4.1
そ の 他	ネ. 市役所窓口の対応	18.9 18.9	36.0 35.8	28.8 25.7	5.6 5.4	2.3 3.6	6.4 8.1	2.0 2.5
	ノ. 市民活動センターやコミセン等地域コミュニティ施設	11.9 11.1	29.3 33.4	31.8 27.5	4.4 6.3	1.9 2.7	17.8 16.2	2.9 2.8

【ごみ減量化】

市のごみ量は、家庭ごみ、事業ごみともに増加傾向にあり、年間約１２億円の税金が、可燃ごみ・資源物の処理に使われています。

環境負荷の軽減、また、財政負担の軽減からのごみの減量化、資源化は課題となっています。

市民一人ひとりが１日あたりのごみを１ｇ減らすと市全体で年間約１１８万円の経費削減になります。このことを参考に、質問にお答えください。

【問１０】あなたの、ごみの減量化やリサイクルへの関心についてお聞かせください。

新規設問

１．非常に関心がある	31.5 (476)
２．少し関心がある	56.6 (857)
３．あまり関心がない	10.2 (155)
４．まったく関心がない	0.9 (13)
無回答	0.8 (12)

【問１１】あなたは今後、ごみの減量化やリサイクルの推進を図るため、主にどのような方法が有効だと思いますか。（複数回答可）

新規設問

１．分別の徹底	77.8 (1,177)
２．生ごみ処理機による生ごみの減量化、生ごみの水切り	48.2 (729)
３．分別品目（資源物）を増やす	28.8 (436)
４．ごみの有料化導入	11.8 (178)
５．戸別収集の導入	16.4 (248)
６．その他（ ）	6.3 (95)
無回答	1.7 (25)

【問１２】市では、分別の徹底などをしてごみを減らした人のごみも、無造作にたくさんのごみを出す人のごみも、税金を使って処理をしており、処理する費用に負担の差はありません。このことについてどう思いますか。

新規設問

１．不公平だと思う	20.6 (312)
２．どちらかというと不公平だと思う	29.0 (439)
３．不公平だがしかたがない	34.4 (520)
４．不公平だと思わない	8.9 (135)
５．わからない	6.0 (91)
無回答	1.1 (16)

【問 1 3】 全国の約 6 割の自治体が、ごみ減量化を目的とした家庭ごみの有料化を導入しており、県内でも有料化にする自治体が増えています。もし、海老名市が家庭ごみの有料化制度を導入するとしたらどのような点に気を付けるべきだと思いますか。(複数回答可)

新規設問

1. 不法投棄が増えないよう対策を行う	79.9 (1,209)
2. 有料化による収入の使い道を明らかにする	53.9 (815)
3. 有料化による効果を明らかにする	61.7 (934)
4. ごみの減量に努力する人にとって公平な仕組みとする	48.9 (740)
5. 戸別収集方式を実施する	24.1 (364)
6. 低所得者、子育てや介護をしている世帯に配慮する	37.4 (566)
7. わからない	4.1 (62)
8. その他 ()	5.7 (86)
無回答	1.3 (19)

【問 1 4】 今までの質問を通じて、ごみの減量化やリサイクルへの関心に変化はありましたか。

新規設問

1. 今まで以上に関心が湧いた。	29.9 (453)
2. 少し関心が湧いた。	56.3 (852)
3. あまり関心が湧かなかった。	10.2 (154)
4. まったく関心が湧かなかった。	1.5 (22)
無回答	2.1 (32)



【農業について】

【問 1 5】 農産物の消費についてお聞きします。あなたは、野菜や果物を買うときにどのような点を最も重視しますか。(複数回答可)

新規設問

1. 市内産であること	20.0 (303)
2. 鮮度	87.2 (1,320)
3. 価格	88.0 (1,332)
4. 産地が有名であること	13.7 (207)
5. 栽培方法 (無農薬等)	30.1 (455)
6. 特に重視しているものはない	5.4 (81)
無回答	0.8 (12)



【問 1 6】 あなたは、海老名産の農産物の直売所を利用していますか。

新規設問

1. いつも利用している。	10.3 (156)
2. ときどき利用している。	47.3 (716)
3. あまり利用していない。	18.3 (277)
4. 利用していない	23.3 (352)
無回答	0.8 (12)



【公共交通】

【問 1 7】あなたは、バスや鉄道をどの程度利用していますか。

		新規設問
バス		
1. 週5日以上		5.0 (76)
2. 週3～4日程度		4.3 (65)
3. 週1～2日程度		6.3 (96)
4. 月2～3日程度		10.4 (158)
5. 月1日程度		9.3 (140)
6. ほとんど利用しない		55.1 (833)
無回答		9.6 (145)



		新規設問
鉄道		
1. 週5日以上		20.0 (302)
2. 週3～4日程度		6.9 (104)
3. 週1～2日程度		11.3 (171)
4. 月2～3日程度		22.0 (334)
5. 月1日程度		16.1 (244)
6. ほとんど利用しない		20.1 (304)
無回答		3.6 (54)

【問 1 8】あなたがレジャー、買い物で普段利用する移動手段は何ですか。(複数回答可)

	今回	前回
1. 自家用車	77.5 (1,173)	77.6 (1,921)
2. 電車 (JR)	25.0 (379)	22.2 (550)
3. 電車 (小田急)	56.3 (852)	51.0 (1,263)
4. 電車 (相鉄)	55.7 (842)	53.2 (1,316)
5. バス (神奈中)	10.8 (164)	11.6 (288)
6. バス (相鉄)	16.9 (256)	16.2 (400)
7. 海老名駅～寒川駅間路線バス	0.9 (14)	—
8. コミュニティバス	10.2 (155)	10.7 (264)
9. めくもり号	1.3 (20)	0.6 (16)
10. 自転車	32.3 (489)	30.3 (750)
11. 徒歩	57.5 (870)	60.6 (1,486)
無回答	0.6 (9)	0.8 (21)

【まちづくり】

【問 1 9】 今後、海老名駅西口地区をはじめ、海老名駅周辺の中心市街地をより良くしていくために何が必要だと思いますか。(複数回答可)

	今回	※前回
1. 海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備	60.1 (910)	64.3 (1,592)
2. 自由通路の延伸整備	26.5 (401)	25.3 (626)
3. 公園・緑地の整備	38.0 (575)	39.9 (988)
4. 案内・標識の整備	25.0 (379)	25.1 (620)
5. バス等の公共交通機関の利便性向上	39.2 (593)	44.9 (1,112)
6. 防犯・防災対策の充実	43.7 (661)	43.4 (1,074)
7. 店舗・飲食店の充実	36.5 (552)	27.9 (690)
8. 教育施設・子育て関連施設の充実	24.1 (365)	26.4 (653)
9. 病院施設・福祉施設の充実	44.7 (677)	45.6 (1,128)
10. イベント等の催事の開催	15.8 (239)	18.6 (460)
11. 特に必要なことはない	6.8 (103)	6.3 (157)
無回答	1.7 (25)	2.2 (54)

【防災対策】

【問 2 0】 あなたは、災害対策として次のどれが最も大切だと思いますか。

	新規設問
1. 自助（自らのことは自ら守る）	35.4 (536)
2. 共助（互いに協力し助け合う）	47.6 (719)
3. 公助（市が実施する災害対策）	15.3 (232)
無回答	1.7 (26)

【問 2 1】 地震や大雨での災害で自宅から避難するときに、周辺の避難所をいくつ知っていますか。

	新規設問
1. 知らない	11.1 (168)
2. 1か所	40.2 (608)
3. 2か所	36.9 (559)
4. 3か所以上	10.5 (159)
無回答	1.3 (19)

【問 2 2】 大雨、地震などの災害時に、市からの情報を何から手に入れますか。(複数回答可)

	新規設問
1. 防災行政無線	65.2 (987)
2. えびなメール	32.6 (493)
3. 海老名市防災ホームページ	23.0 (348)
4. 防災ラジオ	20.6 (312)
5. t w i t t e r（ツイッター）	9.2 (139)
6. 自動販売機のメッセージボード	7.1 (107)
7. その他（ ）	5.4 (82)
無回答	4.0 (61)



【問 2 3】あなたは、自宅に非常食を何日分確保していますか。

新規設問

1. していない	30.7 (465)
2. 3日未満	40.8 (618)
3. 3日以上1週間未満	23.3 (352)
4. 1週間以上	3.8 (57)
無回答	1.4 (21)



【問 2 4】トイレ袋（携帯トイレ）を備蓄していますか。

新規設問

1. 備蓄している	27.4 (414)
2. 備蓄していない	65.6 (994)
3. トイレ袋（携帯トイレ）が分からない	5.5 (83)
無回答	1.5 (22)

※トイレ袋（携帯トイレ）とは、震災等でトイレが使用できなくなったときに、便座にビニール袋をセットして排泄し、使用後は凝固させ一般ごみとして廃棄するものです。

【問 2 5】住宅用火災警報器の設置が義務づけられてから10年が経過しました。

あなたは、自宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

新規設問



1. 設置（すべての場所）	46.2 (699)
2. 一部に設置	35.1 (531)
3. 未設置	16.7 (252)
無回答	2.0 (31)

※設置義務がある部分

寝室として使用している部屋・階段（戸建ての住宅で寝室が2階、3階にある場合のみ該当）

【問 2 6】地震による火災の主な原因である電気火災を防ぐため、自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」は有効な対策です。あなたは、「感震ブレーカー」を設置していますか。

新規設問

1. 設置している	24.2 (366)
2. 設置していない	71.2 (1,078)
無回答	4.6 (69)



<問26で「2.設置していない」と回答した方1,078人>

【問26-1】今後設置を考えていますか。

	新規設問
1. 今後設置をする予定	6.1 (66)
2. 補助等があれば設置したい	67.3 (725)
3. 設置は考えていない	26.4 (285)
無回答	0.2 (2)

【広報・情報化】

【問27】あなたは、海老名市の行事や出来事などを、何から知りますか。(複数回答可)

1. 新聞やテレビ	24.9 (376)
2. 広報えびな	91.4 (1,383)
3. 市のホームページ	14.5 (220)
4. フェイスブック	3.2 (48)
5. 自治会回覧	55.8 (845)
6. タウン情報誌	40.0 (605)
7. その他 ()	3.6 (55)
無回答	2.0 (30)



【問28】現在の「広報えびな」「市のホームページ」などの内容について、どう思われますか。

	1. わかりやすい	2. ふつう	3. わかりにくい	4. 見ていない	無回答
上段 今回 (下線は4項目中1番高い値)					
下段 前回					
ア 広報えびな	29.6 39.3	61.4 50.6	2.9 1.6	4.9 5.6	1.2 2.9
イ 市ホームページ	3.7 5.1	28.3 27.2	7.4 6.1	54.9 46.2	5.7 15.4
ウ フェイスブック	1.3 0.9	10.5 6.2	1.4 0.8	79.9 73.5	6.9 18.6

【男女共同参画】

【問29】 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか。

	今回	※前回
1. 知っている	54.5 (825)	59.0 (1,460)
2. 知っているが意味は知らない	17.2 (260)	14.2 (351)
3. 知らない	26.9 (407)	26.2 (649)
無回答	1.4 (21)	0.6 (15)

※男女共同参画社会とは！？

男女が、互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画できる社会のことです。

【問30】 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。

	今回	※前回
1. 知っている	44.1 (668)	44.0 (1,090)
2. 知っているが意味は知らない	14.5 (220)	9.8 (243)
3. 知らない	39.7 (600)	45.4 (1,121)
無回答	1.7 (25)	0.8 (21)

※ワーク・ライフ・バランスとは！？

「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。



【運転免許証返納制度について】

【問3 1】運転免許証を持っていますか。

新規設問

1. 持っている	78.0 (1,180)
2. 持っていない	21.2 (321)
無回答	0.8 (12)

<問3 1で2持っていないと回答した方(321人)>

【問3 1-1】持っていない理由はなぜですか。

N=321 新規設問

1. 必要がない	72.6 (233)
2. 返納した	22.7 (73)
無回答	4.7 (15)

<問3 1で1. 持っていると回答した方(1,180人)>

【問3 2】現在、どのくらい車を運転されていますか。

N=1,180 新規設問

1. 毎日	40.9 (482)
2. 週に2～3回	32.0 (378)
3. 月に1～2回	10.1 (119)
4. 年に数回	11.4 (135)
無回答	5.6 (66)



【問3 3】車を利用する主な理由は。(複数回答可)

N=1,180 新規設問

1. 通勤	27.7 (327)
2. 買い物	83.1 (981)
3. レジャー、旅行	61.9 (731)
4. 通院	39.2 (463)
5. 介護等施設への送迎	5.5 (65)
6. その他 ()	17.1 (202)
無回答	4.9 (58)

【問3 4】現在、車の運転に不安はありますか。(複数回答可)

N=1,180 新規設問

1. 不安はない	58.4 (689)
2. 全般的に不安である	14.1 (166)
3. 夜の運転に不安がある	20.5 (242)
4. 車庫入れ・駐車に不安がある	10.4 (123)
5. 高速道路運転に不安がある	19.4 (229)
6. 長い距離の運転に不安がある	22.0 (260)
7. その他 ()	3.6 (42)
無回答	4.4 (52)

【問35】「運転免許証返納制度」を知っていますか。

新規設問

1. 知っている	85.2 (1,289)
2. 知らない	4.9 (74)
無回答	9.9 (150)

【問36】 運転免許証を返納するには、どのような特典や制度があれば良いと思いますか。

新規設問 (複数回答可)

1. タクシー乗車の割引	64.6 (977)
2. バスの本数が増えたら	36.3 (549)
3. バス回数券配布	58.2 (880)
4. 各店舗等の割引	17.5 (265)
5. その他 ()	8.8 (133)
無回答	13.9 (210)

【問37】 今後の運転について、どのように考えていますか。(複数回答可)

N=1,180 新規設問

1. 引き続き運転したい。	75.3 (889)
2. 公共機関が充実すれば、運転免許証を返納してもよい。	14.3 (169)
3. 身体的な衰えを自覚するまでは運転したい。	49.9 (589)
4. 運転免許証を返納しない。	7.0 (83)
5. その他 ()	4.0 (47)
無回答	3.8 (45)

【問38】 運転免許証を持っていない方と運転免許証を返納された方(計321人)は、車以外の移動手段として、何を利用していますか。(複数回答可)

N=321 新規設問

1. 電車	72.9 (234)
2. コミュニティバス	25.2 (81)
3. 神奈中バス	24.6 (79)
4. 相鉄バス	27.7 (89)
5. 家族の送迎	49.8 (160)
6. 徒歩	70.1 (225)
7. タクシー	44.5 (143)
8. ぬくもり号	6.2 (20)
9. その他 ()	9.7 (31)
無回答	11.8 (38)



【問39】 運転免許証を返納された方(73人)。運転免許証を返納されたきっかけは何でしたか。

N=73 新規設問 (複数回答可)

1. 運転に不安を感じるようになった。	46.6 (34)
2. 家族に勧められた。	19.2 (14)
3. 車を利用する機会がなくなった。	23.3 (17)
4. その他 ()	21.9 (16)
無回答	27.4 (20)

【問４０】あなたは、海老名市内の次の施設を知っていますか。 **新規設問**

(下線は６項目中１番高い値)	1. 知っている 利用している	2. 知っている が利用していない	3. 知らない	無回答
ア ビナレッジ、ビナスポ	18.9 (286)	<u>40.9 (619)</u>	36.1 (546)	4.1 (62)
イ コミュニティセンター、文化センター	32.2 (487)	<u>57.7 (872)</u>	8.1 (123)	2.0 (31)
ウ 消費生活センター	3.3 (50)	36.6 (554)	<u>55.9 (846)</u>	4.2 (63)
エ 海老名運動公園	40.7 (616)	<u>53.7 (812)</u>	3.8 (58)	1.8 (27)
オ 北部公園	22.0 (333)	<u>43.7 (662)</u>	31.7 (479)	2.6 (39)
カ 中野公園	6.5 (98)	27.2 (411)	<u>63.1 (956)</u>	3.2 (48)
キ 中野多目的広場	4.4 (66)	26.0 (394)	<u>66.3 (1,003)</u>	3.3 (50)
ク 下今泉庭球場	2.0 (31)	28.3 (428)	<u>66.3 (1,003)</u>	3.4 (51)
ケ 今里庭球場	3.3 (50)	24.1 (365)	<u>68.6 (1,038)</u>	4.0 (60)
コ 文化会館	37.7 (571)	<u>53.1 (803)</u>	7.5 (113)	1.7 (26)
サ 市民ギャラリー	13.3 (201)	<u>50.4 (762)</u>	33.5 (507)	2.8 (43)
シ 海老名駅連絡所（えび〜にゃハウス）	16.2 (245)	<u>48.2 (728)</u>	33.0 (500)	2.6 (40)
ス かしわ台連絡所、東柏ヶ谷連絡所	8.7 (131)	23.7 (358)	<u>64.0 (969)</u>	3.6 (55)
セ 保健相談センター	20.0 (302)	<u>45.7 (693)</u>	31.3 (473)	3.0 (45)
ソ 子育て支援センター	10.1 (153)	39.9 (603)	<u>46.2 (700)</u>	3.8 (57)
タ 医療センター（急患診療所、休日歯科診療室）	30.0 (454)	<u>43.5 (658)</u>	23.5 (355)	3.0 (46)
チ 美化センター（粗大ゴミ搬入場所）	<u>54.7 (828)</u>	27.6 (417)	15.7 (238)	2.0 (30)
ツ 資源化センター（分別収集を行っている場所）	11.9 (180)	<u>42.9 (649)</u>	42.6 (644)	2.6 (40)
テ リサイクルプラザ（再生家具販売等リサイクル拠点）	15.2 (230)	<u>48.6 (735)</u>	33.4 (506)	2.8 (42)
ト 高座清掃施設組合（海老名、座間、綾瀬のごみ処理場）	9.9 (150)	42.8 (647)	<u>44.3 (670)</u>	3.0 (46)
ナ 中央図書館、有馬図書館	<u>46.9 (710)</u>	43.1 (652)	8.0 (121)	2.0 (30)

Ⅲ. 調査結果の分析



1 調査回答者の特性（地域別）

調査回答者の特性を地域別に分析し、その結果を地域間で比較した。表中の「市全体の回答数」の列と「全体」の行で人数表示になっており、それ以外の単位は割合（％）表示となっている。

◎ 「性別」

割合は、「男性」46.9%、「女性」52.6%「無回答」0.5%
（全体の回答数 1,513 人、不明 7 人）

◎ 「年代別」

全体では、「65～74 歳」が 22.5%で最も高く、続いて「40 歳から 49 歳」18.4%、「75 歳以上」15.4%となっている。

「年代別」の「地域別」で最も多い地域をみると、「18～24 歳」が「社家地域」、「25～29 歳」は「門沢橋地域」、30 歳代「社家地域」、40 歳代「国分地域」、50 歳代「社家地域」、「60～64 歳」は「門沢橋地域」、「65～74 歳」は「上今泉地域」、「75 歳以上」は「本郷地域」が最も高い。

◎ 「居住年数別」

全体では、「40 年以上」21.5%が最も高く、「30 年以上 40 年未満」が 20.6%と、30 年以上居住されている方の合計が 42.1%となり、前回の 41.4%からさらに増加、長い年数海老名に住んでいる方が多くなっていることがわかる。

「居住年数別」を「地域別」でみると、「1 年未満」が「社家地域」、「1 年以上 5 年未満」が「国分地域」、「5 年以上 10 年未満」では「社家地域」、「10 年以上 20 年未満」では「柏ヶ谷地域」、「20 年以上 30 年未満」では「杉久保地域」、「30 年以上 40 年未満」で「大谷地域」、「40 年以上」では「本郷地域」がそれぞれ最も高くなっている。

「本郷地域」の特色として、30 年以上住んでいる方が 70.0%と高くなっていて、他の地域とは違う地域性のあることがわかる。

◎ 「職業別」

全体では、「会社員等」45.0%が最も高く、「専業主婦・主夫」22.5%、「無職」22.2%、「自営業」5.9%と続く。

「職業別」を「地域別」でみて、最も高くなっているのは、「会社員等」は「柏ヶ谷地域」51.9%、「専業主婦・主夫」は「上今泉地域」32.0%、「無職」は「上今泉地域」26.0%、「自営業」は「本郷地域」30.0%とそれぞれの地区が最も高くなっている。

◎ 「通勤・通学場所」

全体では「海老名市内」が 27.5%、「近隣市町」が 29.9%で「海老名市内」と「近隣市町」を合わせると 57.4%となっていて、6 割近くの方は市内や近隣市町へ通勤・通学していることがわかる。

また、神奈川県内の合計は 82.8%でほぼ県内に通勤・通学していて、東京都内は 14.9%となっている。

「通勤・通学場所」を「地域別」でみると、「海老名市内」への通勤・通学している率が最も多い地域が「本郷地域」、「近隣市町」への通勤・通学している率が最も多いのは「門沢橋地域」40.0%となっている。

◎ 「家族構成」

全体では「二世帯世代」49.2%、「夫婦のみ」28.8%、「単身」10.3%、「三世帯世帯」7.6%、「その他」3.5%となっている。

「家族構成」を「地域別」でみると、「単身世帯」が多いのは「上郷・下今泉地域」13.3%、「夫婦のみ」は「大谷地域」34.7%、「二世帯世帯」は「社家地域」56.9%、「三世帯世帯」は「本郷地域」15.0%でそれぞれ最も高くなっている。



調査回答者の特性（地域別） — 性別、年代別

		市 全 体 の 回 答 数	市 全 体 の 回 答 率	柏 ヶ 谷 地 域	上 今 泉 地 域	上 郷 ・ 下 今 泉 地 域	国 分 地 域	海 西 地 域	大 谷 地 域	杉 久 保 地 域	本 郷 地 域	社 家 地 域	門 沢 橋 地 域	不 明
合 計	件数	1513	50.4	241	150	83	298	215	219	120	40	65	76	6
	%	100.0	100.0	15.9	9.9	5.5	19.7	14.2	14.5	7.9	2.6	4.3	5.0	0.4

		件数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
性別	男性	710	46.9	47.7	44.0	45.8	50.7	44.7	48.4	46.7	52.5	43.1	43.4	
	女性	796	52.6	52.3	56.0	54.2	49.3	54.8	51.6	53.3	47.5	56.9	56.6	
	無回答	7												
年代	18～24歳	54	3.6	2.9	4.0	2.4	3.7	4.7	3.7	3.3	2.5	7.7	0.0	
	25～29歳	50	3.3	2.9	1.3	2.4	3.0	4.2	4.1	4.2	2.5	0.0	7.9	
	30～39歳	190	12.6	13.7	10.7	13.3	13.1	15.8	9.6	9.2	7.5	16.9	14.5	
	40～49歳	278	18.4	19.1	12.7	20.3	26.9	14.4	11.4	17.5	20.0	26.2	18.4	
	50～59歳	218	14.4	15.8	18.0	13.3	14.4	15.3	11.9	11.7	12.5	18.5	11.8	
	60～64歳	141	9.3	10.0	8.0	14.5	4.7	11.2	8.7	15.0	7.5	4.6	15.8	
	65～74歳	342	22.5	22.3	32.0	20.5	19.1	18.6	28.2	24.9	22.5	16.9	18.4	
	75歳以上	233	15.4	12.9	13.3	13.3	15.1	15.8	22.4	14.2	25.0	9.2	13.2	
	無回答	7												
男性	18～24歳	19	2.7	3.5	1.5	0.0	2.0	2.1	3.8	3.6	4.8	7.1	0.0	
	25～29歳	25	3.5	2.6	1.5	0.0	2.6	5.2	3.8	7.1	0.0	0.0	12.1	
	30～39歳	89	12.5	13.0	13.6	13.2	13.2	15.6	9.4	10.7	9.5	10.7	12.1	
	40～49歳	121	17.0	18.3	15.2	18.4	24.6	15.6	6.6	19.6	19.0	21.4	9.1	
	50～59歳	99	13.9	16.5	18.2	7.9	13.2	12.5	12.3	10.7	14.3	21.4	15.2	
	60～64歳	69	9.7	10.4	7.6	18.4	4.0	14.6	9.4	12.5	4.8	3.6	18.1	
	65～74歳	166	23.4	22.7	28.8	18.4	20.5	17.7	33.0	25.1	28.6	17.9	18.2	
	75歳以上	122	17.2	13.0	13.6	23.7	19.9	16.7	21.7	10.7	19.0	17.9	15.2	
	無回答													
女性	18～24歳	35	4.4	2.4	6.0	4.4	5.4	6.8	3.5	3.1	0.0	8.1	0.0	
	25～29歳	25	3.1	3.2	1.2	4.4	3.4	3.4	4.4	1.6	5.3	0.0	4.7	
	30～39歳	101	12.7	14.3	8.3	13.3	12.9	16.1	9.7	7.8	5.3	21.6	16.3	
	40～49歳	158	19.8	19.8	10.7	22.4	29.4	13.6	15.9	15.6	21.1	29.8	25.5	
	50～59歳	119	14.9	15.1	17.9	17.8	15.6	17.8	11.5	12.5	10.5	16.2	9.3	
	60～64歳	72	9.0	9.5	8.3	11.1	5.4	8.5	8.0	17.2	10.5	5.4	14.0	
	65～74歳	176	22.1	22.2	34.5	22.2	17.7	19.4	24.0	25.0	15.8	16.2	18.6	
	75歳以上	110	13.8	12.7	13.1	4.4	10.2	14.4	23.0	17.2	31.5	2.7	11.6	
	無回答													

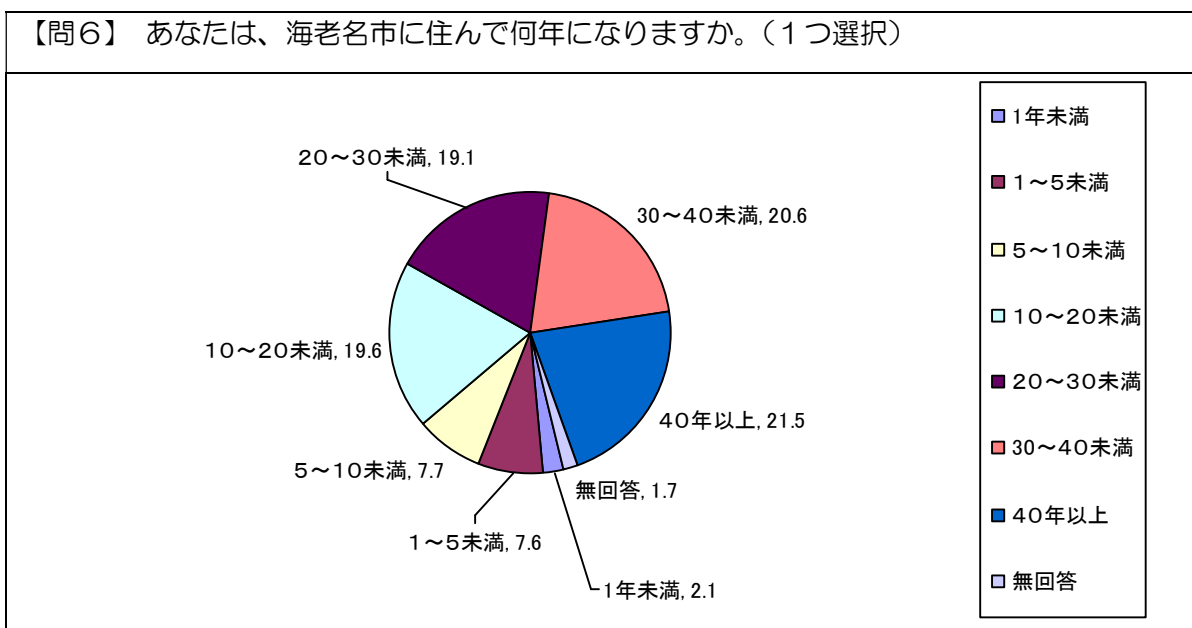
調査回答者の特性（地域別） ー 居住年数、職業、通勤・通学場所、家族構成

		市 全 体 の 回 答 数	市 全 体 の 回 答 率	柏 ヶ 谷 地 域	上 今 泉 地 域	上 郷 ・ 下 今 泉 地 域	国 分 地 域	海 西 地 域	大 谷 地 域	杉 久 保 地 域	本 郷 地 域	社 家 地 域	門 沢 橋 地 域	不 明
合 計	件数	1513	50.4	241	150	83	298	215	219	120	40	65	76	6
		件数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
居住 年 数	1 年未満	32	2.1	2.1	4.0	1.2	2.0	0.9	0.9	0.0	5.0	6.2	3.9	
	1 年以上 5 年未満	115	7.6	6.6	8.7	7.3	9.7	8.8	5.0	5.8	2.5	9.2	9.2	
	5 年以上 10 年未満	116	7.7	9.5	6.7	11.0	9.4	9.3	2.8	5.0	7.5	12.3	3.9	
	10 年以上 20 年未満	296	19.6	28.3	15.3	17.1	23.8	19.5	13.3	19.2	7.5	15.4	17.1	
	20 年以上 30 年未満	289	19.1	19.5	17.3	24.4	16.4	20.0	17.4	33.3	5.0	16.9	14.5	
	30 年以上 40 年未満	312	20.6	16.6	24.7	17.1	18.5	19.1	28.4	16.7	25.0	20.0	25.0	
	40 年以上	326	21.5	16.6	21.3	19.5	18.5	21.0	30.8	15.8	45.0	20.0	26.4	
	無回答	27												
職 業	自営業	89	5.9	5.0	3.3	1.2	6.0	4.2	6.4	6.7	30.0	6.2	7.9	
	会社員等	680	45.0	51.7	36.1	49.4	47.4	46.4	36.9	47.5	27.5	50.7	47.4	
	学生	30	2.0	1.7	1.3	3.6	1.3	3.3	2.3	1.7	2.5	3.1	0.0	
	専業主婦・主夫	341	22.5	21.2	32.0	20.5	20.5	24.2	24.7	20.8	20.0	15.4	18.4	
	無職	336	22.2	18.3	26.0	24.1	22.1	21.4	25.6	20.8	20.0	21.5	23.7	
	無回答	37												
通 勤 ・ 通 学 場 所	海老名市内	220	27.5	17.8	21.9	25.6	25.8	32.3	24.8	27.1	45.8	31.7	33.3	
	近隣市町	239	29.9	37.6	26.6	23.4	21.1	23.7	27.5	31.5	25.0	31.7	40.1	
	横浜市・川崎市	108	13.5	14.4	10.9	21.3	16.6	11.9	11.0	10.0	8.3	9.8	4.4	
	その他神奈川県内	95	11.9	9.6	7.8	14.9	11.4	15.3	8.3	10.0	12.5	12.2	15.6	
	東京 23 区	105	13.1	13.0	23.4	10.6	15.4	12.7	11.9	10.0	4.2	7.3	0.0	
	東京 23 区以外の都内 市町村	14	1.8	1.4	1.6	2.1	2.3	0.8	3.7	1.4	0.0	0.0	0.0	
	その他	26	3.3	2.1	4.7	0.0	2.3	2.5	5.5	5.7	4.2	2.4	2.2	
	無回答	37												
家 族 構 成	単身世帯	156	10.3	12.9	8.0	13.3	12.1	10.2	6.8	10.8	10.0	10.8	6.6	
	夫婦のみ	435	28.8	30.7	26.7	28.9	27.2	29.8	34.7	26.7	32.5	20.0	23.7	
	二世世代世帯	745	49.2	50.1	48.6	53.0	52.0	47.9	42.9	54.2	37.5	56.9	49.9	
	三世世代世帯	115	7.6	4.6	12.0	3.6	6.4	5.6	11.0	4.2	15.0	10.8	13.2	
	その他	53	3.5	1.7	4.7	1.2	2.0	6.5	4.1	3.3	5.0	1.5	6.6	
	無回答	9												

2「定住性・生活環境」

(1) 居住年数

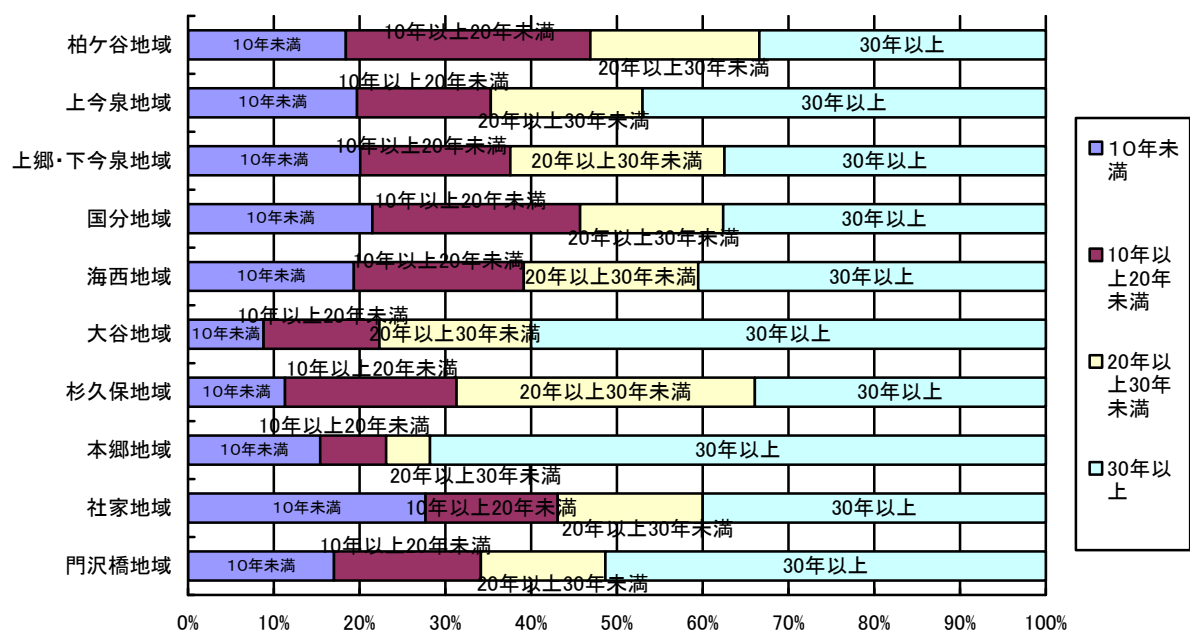
◎海老名市での居住年数20年以上は、約6割



海老名市での居住年数は、「40 年以上」21.5%が最も高く、続いて「30 年以上 40 年未満」20.6%、「10 年以上 20 年未満」19.6%となっている。

20 年以上の合計は 61.2%となり、前回の 59.9%から数値を上げている。

◎「10 年未満の居住者」は社家地域が最も多く、 「30 年以上の居住者」は本郷地域が他地域に差をつけて多い

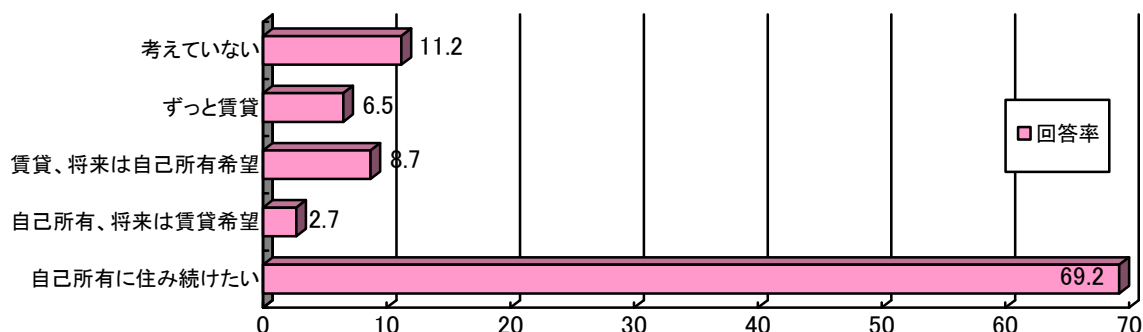


「10 年未満」の居住者は「社家地域」27.7%が最も高く、次に「国分地域」21.1%、「上今泉地域」19.4%と続く。「30 年以上」の居住者は「本郷地域」が 70.0%と最も多く、次に「大谷地域」59.1%、「門沢橋地域」51.3%と続く。

(2) 住まいに対する考え方

◎「自己所有の住宅に住みたい」が現在、将来と合わせて約8割

【問7】 あなたのお住まいに対する考え方についてどう思いますか。（1つ選択）

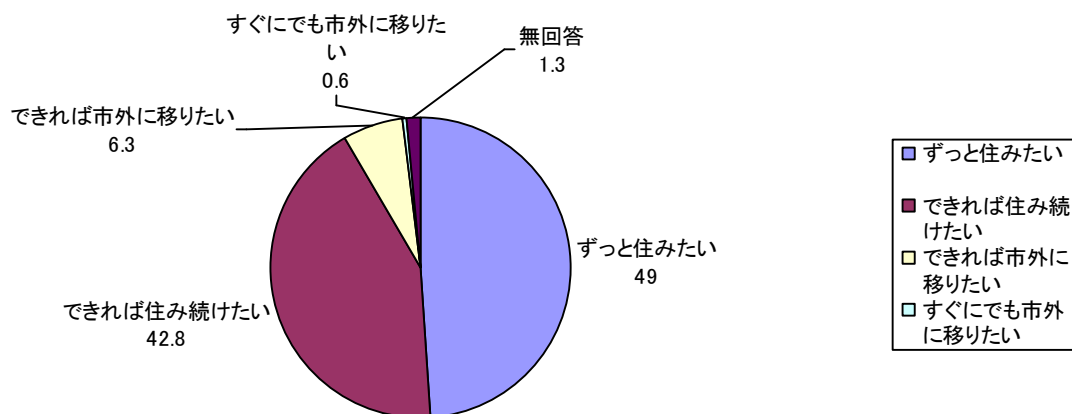


「あなたのお住まいに対する考え方についてどう思いますか。」という質問に対し、「自己所有の住宅に住んでいて、これからも自己所有の住宅に住み続けたい」と「賃貸住宅に住んでいるが、将来は自己所有の住宅に住みたい」を合わせると77.9%となり、8割近くの方が将来または将来にわたり自己所有の住宅に住みたい意向を持っている。

(3) 定住意向・転出意向

◎「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」と合わせて9割

【問8】 あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。（1つ選択）



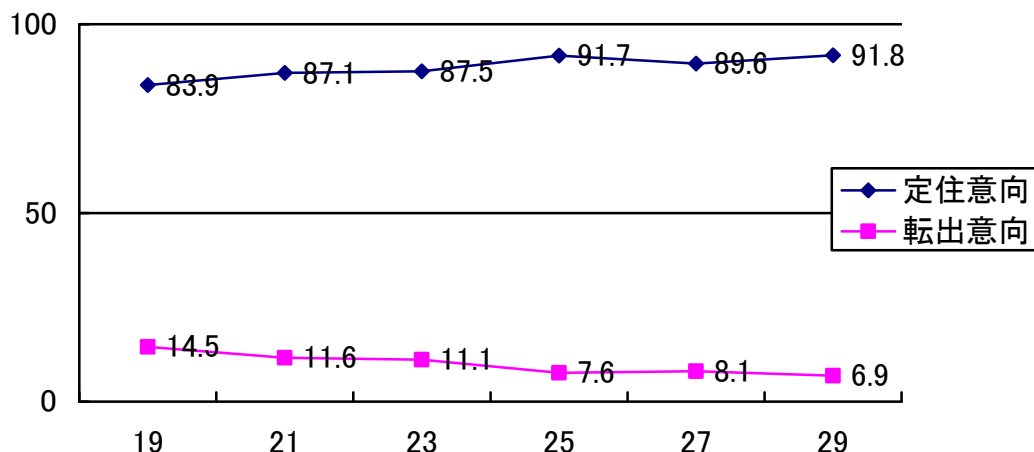
「あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。」との質問に対し、「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」を合わせると、91.8%とほとんどの方がこれからも海老名市に住みたい意向を持っている。

一方、市外に移りたい意向を持っている方の割合は昨年8.1%から減り、6.9%となっている。

平成 19 年から 29 年度までの定住意向は 83.9%→87.1%→87.5%→91.7%→89.6%→91.8%となっていて高い水準を維持していて、今年度、過去最高の割合となっている。

反対に、転出意向は 14.5%→11.6%→11.1%→7.6%→8.1%→6.9%となっていて、今回、過去最少となっている。

このことから、定住意向が年々高まっていることがわかる。



◎20 歳代後半からの高い定住意向は、前回調査と変わらず

定住意向について、「年代別」ではどの年代でも高い数値を示しており、40 歳以降から 9 割超えと高い数値となっている（前回は 30 歳以降で 8 割超え）。この中で「ずっと住みたい」は年齢が高くなるに従い割合が高くなっている。また、「できれば住み続けたい」は、年齢が低くなるに従い割合が高くなる傾向にあり、「18～24 歳」で 66.6%と最も高くなっている（「25～29 歳」については、64.0%）。

定住意向が最も多い「性別」、「年代別」で見た割合は、「女性」の「65～74 歳」で、95.5%となっている。

「地域別」では、前回調査では定住意向が最も高い地域は「門沢橋地域」の 93.4%で、2 位「上郷・下今泉地域」92.0%と続いていたが、今回 1 位は「本郷地域」95%となった。続く「海西地域」も 94.9%、「上今泉地域」94.7%と高くなっている。また、他の地域も 90%前後と高くなっているのは前回と同様である。

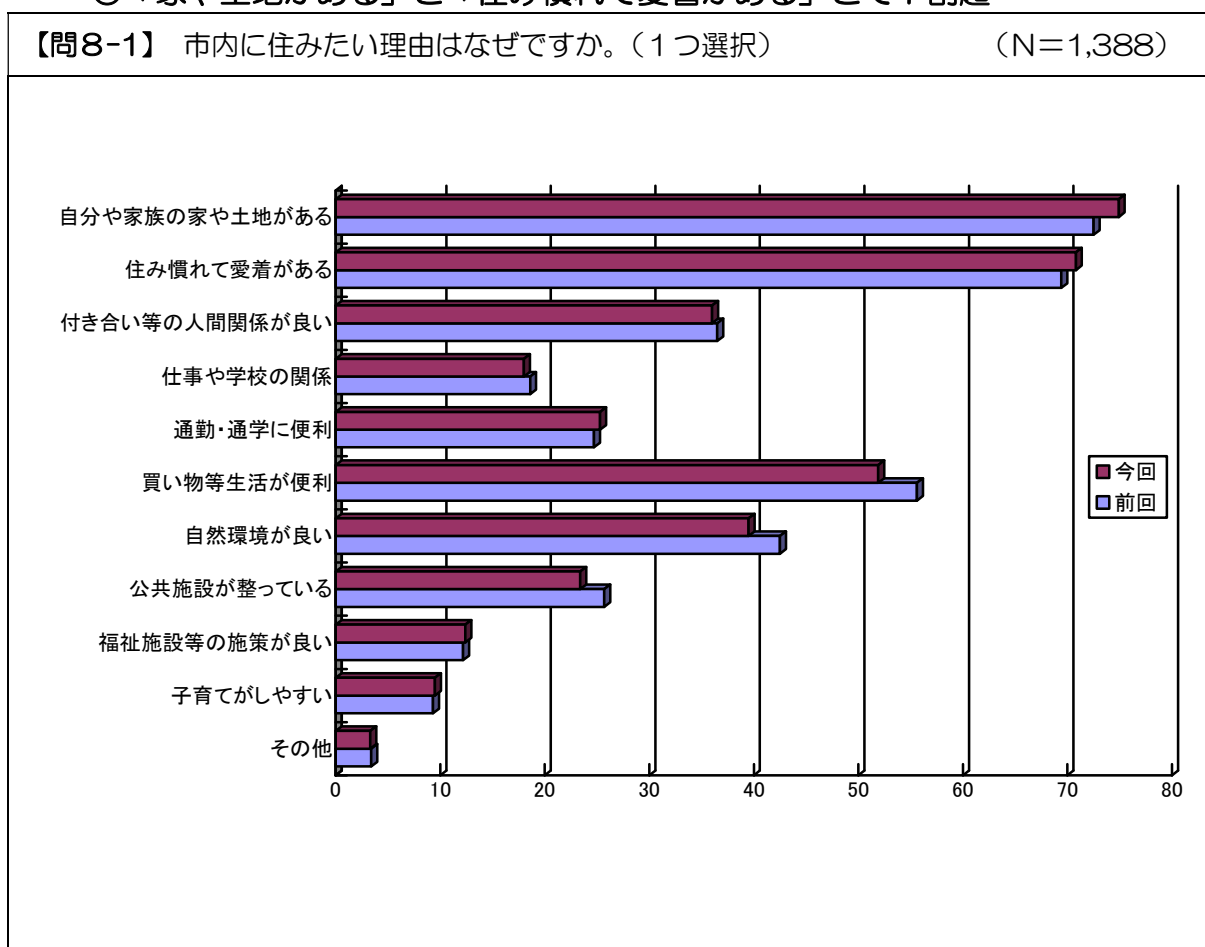
転出意向については、40 代以上では 1 割に満たないが、年齢が低くなるほど数値が高くなっている。18 歳～24 歳では 13.0%、一番高い 25～29 歳で 18.2%と、低い数値になっている。「できれば市外に移りたい」は「18～24 歳」で 13.0%(前回 21.6%)、25～29 歳で 16.0%(前回 19.4%)と減少している。

「すぐにでも市外に移りたい」は、40 歳代以上では 1%に満たないが、「30～39 歳」は 1.1%(前回 1.5%)、「25～29 歳」は 2.0%(前回 1.9%)、「18～24 歳」は、0%(前回 5.2%)となっている。

「地域別」の「すぐにでも市外に移りたい」「できれば市外に移りたい」を合計した転出意向は前回「上今泉地域」10.3%が最も高くなっていたが、今回は「杉久保地域」が 10.0%と最も高く、2 位「上郷・下今泉地域」9.6%、3 位「社家地域」9.2%となっていて、全体的に低く、本郷地域では、「すぐにでも市外に移りたい」0%、「できれば市外に移りたい」2.5%、合計した転出意向はもっとも低い 2.5%となっている。

(4) 市内に住みたい理由

◎「家や土地がある」と「住み慣れて愛着がある」とで7割超



市内に住みたい理由は、「自分、または家族の家や土地があるから」74.9%と最も高く、続いて「住み慣れて愛着があるから」70.8%、「買い物等生活に便利だから」51.9%となっており、上位2つが前回より高くなった。

「性別」では「男性」・「女性」ともに上位3位までは、全体の結果と同様になっているが、4位は「男性」が「自然環境が良いから」となっていることに対して「女性」は「付き合い等の人間関係が良いから」となっている。

「年代別」では、全体に多かったのは「自分、または家族の家や土地があるから」と「住み慣れて愛着があるから」であったが、「30～39歳」で一番多かったのは「買い物等生活に便利だから」となっている。これらは前回調査でも同様の結果となっている。

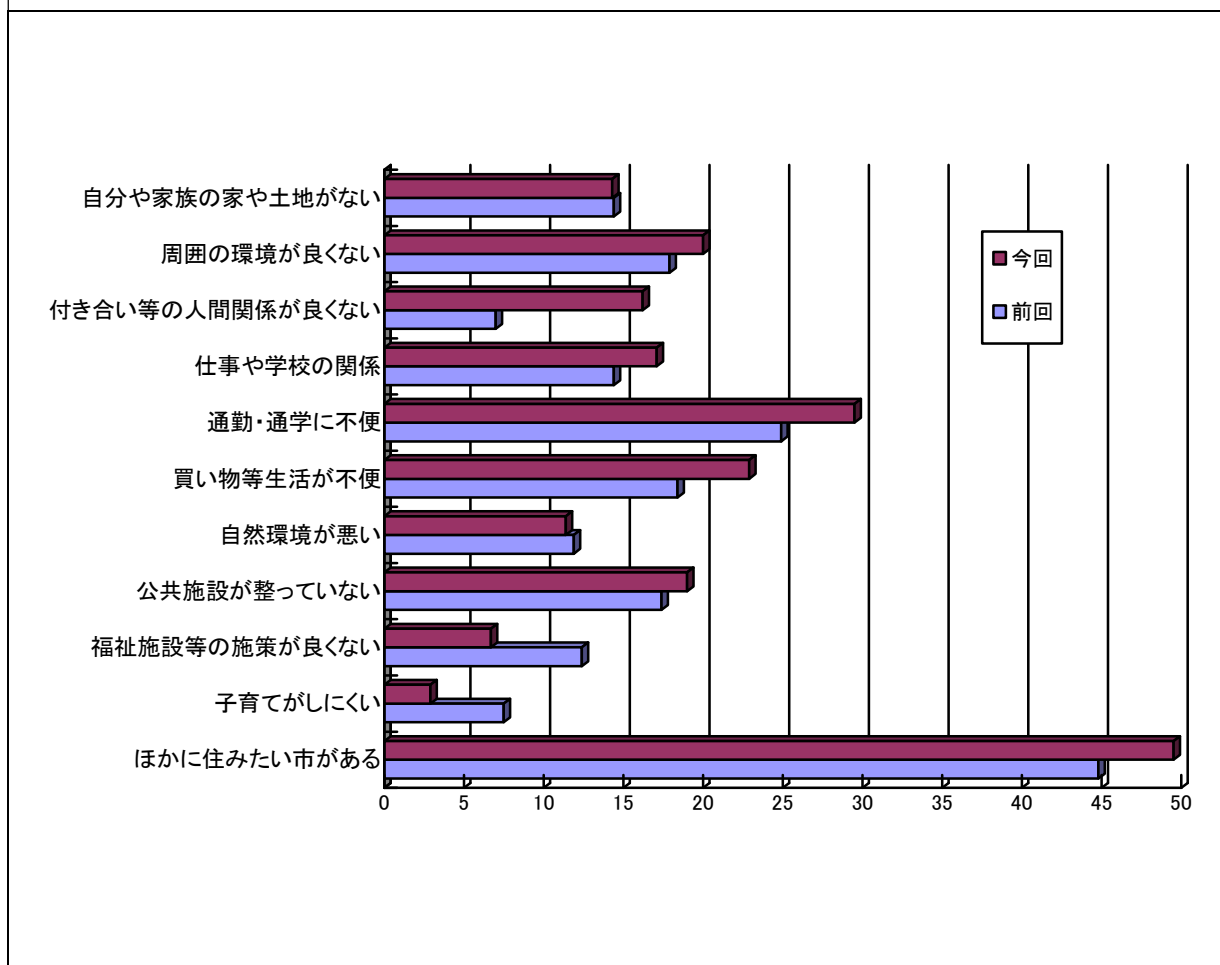
「地域別」においても、全体に多かったのは「自分、または家族の家や土地があるから」「住み慣れて愛着があるから」であったが、3位では全く違う結果が出ており、「買い物等生活に便利」が「柏ヶ谷地域」、「上今泉地域」、「上郷・下今泉地域」、「国分地域」、「海西地域」、「大谷地域」となっているが、「杉久保地域」、「本郷地域」、「社家地域」では「自然環境が良いから」となっていて、1地域のみ、「門沢橋地域」の3位は「付き合い等の人間関係が良いから」となっていて、土地柄の違いが伺える。

(5) 市外に移りたい理由

◎「ほかに住みたい市あるから」が上位

【問8-2】 市外に移りたい理由はなぜですか。(複数回答可)

(N=105)



市外へ移りたい理由としては、「ほかに住みたい市があるから」49.5%が最も高く、「通勤・通学に不便だから」29.5%、「買い物等生活に不便だから」22.9%と続いている。

「年代別」にみると、39歳以下については、「通勤・通学に不便だから」が最も高くなっている。

また、「ほかに住みたい市があるから」については、「40～49歳」60.9%、「50～59歳」73.7%、「60～64歳」62.5%と6割以上の割合が多い。

「地域別」1位は、「ほかに住みたい市があるから」が「柏ヶ谷地域」58.8%、「上郷・下今泉地域」37.5%、「国分地域」51.9%「海西地域」54.5%「大谷地域」33.3%「門沢橋地域」75.0%、と「通勤・通学に不便だから」が「海西地域」54.5%「大谷地域」33.3%（2項目同率1位）「杉久保地域」50.0%「本郷地域」100.0%「社家地域」66.7%だが、「上今泉地域」だけは1位が「買い物等に不便だから」71.4%となっている。

(6) 生活環境と施策の満足度

【問9】 あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～ノの各項目について、あてはまると思うものをお選びください。(項目ごとに1つ選択)

◆満足度の高い項目(満足とやや満足を合わせた順位)

◎「ごみ処理と資源回収」、「買い物等の生活の便利さ」など4項目が6割超

前は6割超えたものは2項目でした。

生活環境と施策の満足度(問9) 25項目

・今回も前回と同じくトップは「ごみ処理と資源回収」74.4%と高評価

上位順位	項目名	今回%(前回順位:%)
1→	ごみ処理と資源回収	74.4%(1:68.3%)
2→	買い物等の生活の便利さ	70.5%(2:67.4%)
3→	最寄駅へのアクセス	67.6%(3:57.3%)
4↑	樹林地や田園等の緑と自然環境	63.5%(8:46.6%)
5↓	病院や診療所等の医療施設	55.3%(4:56.4%)

満足度の順位にほぼ変化はない。

今回トップは前回と変わらず「ごみ処理と資源回収」74.4%、

満足度ワースト1は「待機児童解消策等の保育所整備」9.2%

満足度の高い項目の1位から3位は「ごみ処理と資源回収」74.4%、2位「買い物等の生活の便利さ」70.5%、3位「最寄駅へのアクセス」67.6%となり、前回と同じ結果となった。

今回変化があったのは4位で、前回の「病院や診療所等の医療施設」から「樹林地や田園等の緑と自然環境」(前回8位)になった。また、前回4位であった「病院や診療所等の医療施設」は、次点の5位となっている。

1位の「ごみ処理と資源回収」は「性別」や「年代別」、「地域別」においても満足度が高くなっている。

しかし、2位の「買い物等の生活の便利さ」では「地域別」において、唯一、「社家地域」の満足度が30.8%と、他地域においては6割を超えているのに対し、低くなっている。

3位の「最寄駅へのアクセス」は「地域別」満足度が、「柏ヶ谷地域」89.2%、「国分地域」74.5%、「海西地域」74.4%、と高いが、「本郷地域」が22.5%ととても低くなっている。

下位順位	項目名	今回%(前回順位:%)
21→	デイサービス施設等福祉の施設	17.8%(21:14.3%)
22→	企業立地、農業保全等の産業振興施策	12.5%(22:12.9%)
23→	サマースクール、学童保育等の教育支援施策	11.4%(23:11.5%)
24→	空き地空家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策	11.3%(24:11.4%)
25→	待機児童解消策等の保育所整備	9.2%(25:9.2%)

◆不満足度の高い項目（不満とやや不満を合わせた順位）

◎「歩道・信号の設置等の交通安全対策」が３割台

不満足度の高い項目は１位「生活道路の整備」28.8%、２位「歩道・信号の設置等の交通安全対策」28.4%、３位「騒音・振動・悪臭等の公害対策」27.8%となっている。

上位順位	項目名	今回%（前回順位：%）
1 ↑	生活道路の整備	28.8%（2：29.9%）
2 ↓	歩道・信号の設置等の交通安全対策	28.4%（1：34.2%）
3 ↑	騒音・振動・悪臭等の公害対策	27.8%（6：22.0%）
4 ↓	幹線道路の整備	22.2%（3：25.1%）
5 ↑	最寄り駅へのアクセス	19.9%（7：19.8%）

今回は前回の１位と２位の順位が入れ替わり、３位が「騒音・振動・悪臭等の公害対策」27.8%となった。

１位から５位までの項目をみると、道路や交通関係が多くなっている。

１位の「生活道路の整備」では、「本郷地域」で45%と半数近い不満足度となっている。続いて高いのは、「上郷・下今泉地域」37.4%、「国分地域」32.9%となる。前回は、「上郷・下今泉地域」が50.4%と他の地域と比べると高く、続いて「国分地域」40.7%、「本郷地域」35.2%の順で、最も低いのは「大谷地域」で17.5%となっていた。

２位の「歩道・信号の設置等の交通安全対策」は、地域別では、「杉久保地域」34.2%、「門沢橋地域」30.3%、「国分地域」30.2%となっている。

３位「騒音・振動・悪臭等の公害対策」は、「性別」では「男性」29.3%、「女性」26.6%となっており、「年代別」では「50～59 歳」37.1%が最も高く、続いて「40～49 歳」、「65～74 歳」となっている。

「地域別」では、１位「柏ヶ谷地域」44.1%、２位「社家地域」33.8%、３位「上今泉地域」31.4%となっている。



◆生活環境と施策の平均評価点

「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」評価の各回答者数に、所定の評価点を乗じた値の和を調査回答者数で除したものを「平均評価点」とする。平均評価点は-2.00 から 2.00 の間に分布する。

この平均評価点の算出方法では「どちらとも言えない」の評価は考慮されず、「満足」と「やや満足」、「やや不満」と「不満」では点数に倍の差がつくため、順位は%評価や%評価を基準としている満足度、不満足度とは異なる結果になる場合もある。

☆算出式

$$\frac{\text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」} \times -1 \text{点} + \text{「不満」} \times -2 \text{点}}{\text{調査回答者数}}$$

※「満足」「やや満足」「どちらとも言えない」「やや不満」「不満」「無回答」の数値は%表示。

平均評価点は上記算式により算出し、小数点第3位を四捨五入した数値



	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	平均評価点 (前回)	平均評価点	前回との比較
ア. 最寄駅へのアクセス(路線バス、コミバス含む)	39.8	27.8	9.1	11.8	8.1	1.5	0.53	0.80	△
イ. 買い物等の生活の便利さ	33.9	36.6	11.4	10.6	5.0	0.5	0.71	0.84	△
ウ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	24.4	39.1	24.1	4.8	3.3	1.4	0.43	0.73	△
エ. ごみ処理と資源回収	35.6	38.8	15.3	5.4	1.9	1.1	0.84	1.01	△
オ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	15.5	27.5	24.6	15.0	12.8	2.4	0.12	0.18	△
カ. 病院や診療所等の医療施設	19.3	36.0	21.3	13.4	6.1	1.5	0.46	0.49	△
キ. デイサービス施設等の高齢者(障がい者)福祉の施設	5.0	12.8	31.5	4.8	2.9	39.0	0.06	0.12	△
ク. 中学生までの子どもの医療費全額助成施策	34.7	12.7	16.8	2.1	1.5	26.8	0.72	0.77	△
ケ. 待機児童解消策等の保育所整備	2.3	6.9	27.8	3.9	4.6	48.4	-0.02	-0.01	△
コ. 体育館や庭球場等のスポーツ施設の整備	11.4	26.6	27.9	7.5	3.3	19.1	0.33	0.35	△
サ. 文化会館や図書館等の文化施設の整備	15.9	35.9	23.9	7.7	4.6	9.0	0.47	0.51	△
シ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策	9.5	27.0	28.4	17.4	11.0	3.6	-0.10	0.07	△
ス. 海老名駅周辺の自由通路や市街地整備	14.4	33.6	25.7	11.0	6.9	5.4	0.24	0.38	△
セ. 幹線道路の整備 (南伸道路など市内の主要な道路)	8.1	24.0	29.4	14.3	7.9	12.3	0.04	0.10	△
ソ. 生活道路の整備 (自宅周辺の幹線道路へ続く道路)	9.8	26.8	27.3	18.7	10.1	4.4	0.06	0.07	△
タ. 下水道・排水処理施設の整備	19.5	31.2	27.0	3.7	3.9	12.4	0.57	0.59	△
チ. 公園・遊び場の整備	11.6	27.8	29.3	11.3	6.0	10.8	0.21	0.28	△
ツ. 講演会やイベントの開催等の生涯学習施策	3.7	15.5	38.7	6.1	1.8	30.0	0.08	0.13	△
テ. 災害に対する体制・対策の整備	5.1	18.9	40.8	6.3	3.0	22.5	0.20	0.17	▼
ト. 防犯に対する体制・対策	4.0	17.8	40.5	10.2	3.4	20.6	0.10	0.09	▼
ナ. 企業立地、農業保全等の産業振興施策	2.1	10.4	36.6	5.6	2.0	39.0	0.06	0.05	▼
ニ. 空き地空き家の適正管理・住宅リフォーム助成等の住宅施策	2.2	9.1	36.4	7.1	4.4	37.0	-0.04	-0.02	△
ヌ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	2.8	8.6	31.7	4.6	2.6	44.6	0.03	0.04	△
ネ. 市役所窓口の対応	18.9	36.0	28.8	5.6	2.3	6.4	0.61	0.64	△
ノ. 市民活動センターやコミセン等地域コミュニティ施設	11.9	29.3	31.8	4.4	1.9	17.8	0.43	0.45	△

◎地域別評価

	柏 ヶ 谷	上 今 泉	上 郷・ 下 今 泉	国 分	海 西	大 谷	杉 久 保	本 郷	社 家	門 沢 橋
ア. 最寄駅へのアクセス (路線バス、コミバス含む)	1.51	0.16	0.06	1.01	0.96	0.90	0.13	-0.63	0.17	0.76
イ. 買い物等の生活の便利さ	1.12	0.60	1.29	1.17	0.89	0.94	0.20	0.28	-0.38	0.59
ウ. 樹林地や田園等の緑と自然環境	0.56	0.74	1.07	0.69	0.84	0.81	0.82	1.03	0.85	0.86
エ. ごみ処理と資源回収	1.17	1.00	0.93	1.00	0.96	0.91	1.13	1.00	1.02	0.32
オ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策	0.30	0.11	0.47	0.28	0.44	0.26	0.19	0.10	0.09	0.21
カ. 病院や診療所等の医療施設	0.78	0.39	0.69	0.60	0.69	0.41	0.16	-0.13	0.12	-0.15
キ. デイサービス施設等の高齢者 (障がい者)福祉の施設	0.01	0.19	0.11	0.15	0.15	0.14	0.16	-0.10	0.02	0.26
ク. 中学生までの子どもの医療費全 額助成施策	0.74	0.78	0.67	0.85	0.79	0.68	0.70	0.88	0.91	0.86
ケ. 待機児童解消策等の保育所整備	-0.06	-0.07	0.08	0.02	0.03	-0.06	-0.07	0.08	0.02	0.04
コ. 体育館や庭球場等のスポーツ施 設の整備	0.13	0.34	0.58	0.35	0.68	0.21	0.22	0.13	0.71	0.42
サ. 文化会館や図書館等の文化施設 の整備	0.20	0.49	0.82	0.57	0.83	0.42	0.43	0.30	0.51	0.66
シ. 歩道・信号の設置等の交通安全 対策	0.00	0.18	0.17	0.08	0.14	0.13	-0.06	-0.08	-0.12	-0.08
ス. 海老名駅周辺の自由通路や市街 地整備	0.32	0.43	0.53	0.37	0.46	0.29	0.32	0.28	0.48	0.49
セ. 幹線道路の整備(南伸道路など 市内の主要な道路)	0.04	0.13	0.02	0.02	0.15	0.08	0.22	0.15	0.23	0.32
ソ. 生活道路の整備(自宅周辺の幹 線道路へ続く道路)	0.02	0.17	-0.08	0.32	0.18	0.18	0.06	-0.18	0.17	0.03
タ. 下水道・排水処理施設の整備	0.62	0.66	0.55	0.61	0.67	0.67	0.68	-0.55	0.45	0.46
チ. 公園・遊び場の整備	0.38	0.27	0.54	0.08	0.47	0.27	0.17	-0.30	0.35	0.30
ツ. 講演会やイベントの開催等の生 涯学習施策	0.06	0.05	0.30	0.16	0.25	0.10	0.11	0.00	0.14	0.11
テ. 災害に対する体制・対策の整備	0.14	0.27	0.25	0.18	0.25	0.05	0.15	0.05	0.15	0.14
ト. 防犯に対する体制・対策	0.10	0.05	0.19	0.16	0.15	0.05	-0.08	-0.08	-0.14	0.21
ナ. 企業立地、農業保全等の産業振 興施策	0.03	0.01	0.20	0.09	0.13	0.03	-0.03	-0.12	0.03	0.03
ニ. 空き地空き家の適正管理・住宅 リフォーム助成等の住宅施策	-0.06	-0.08	0.06	-0.03	0.12	-0.09	-0.05	-0.13	0.00	0.05

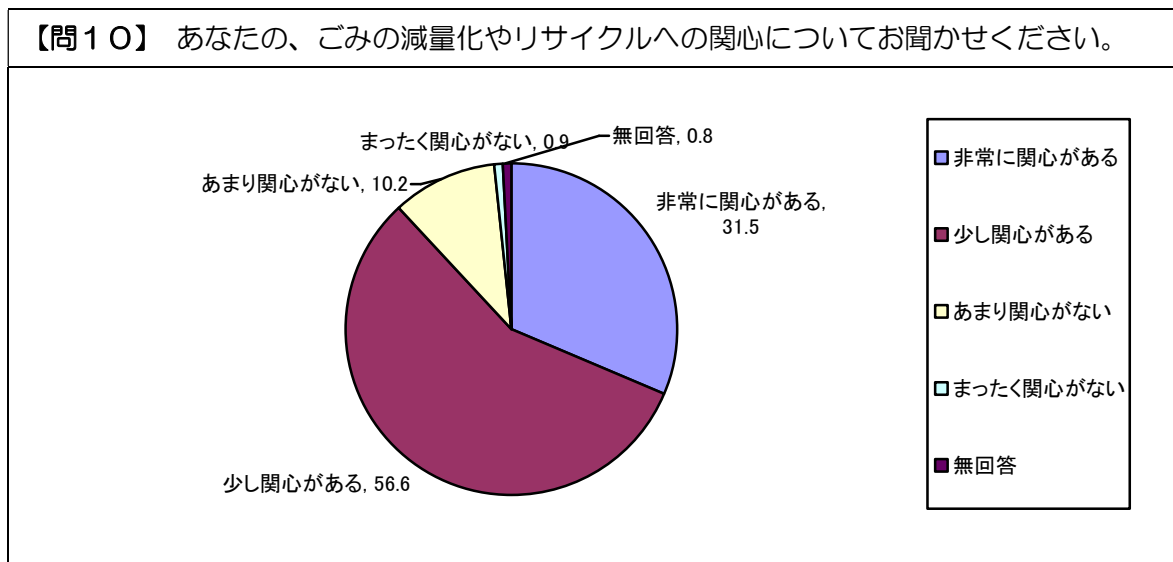
	柏ヶ谷	上今泉	上郷・下今泉	国分	海西	大谷	杉久保	本郷	社家	門沢橋
ヌ. サマースクール、学童保育等の教育支援施策	0.06	0.07	0.10	0.02	0.10	0.03	0.05	-0.18	0.08	-0.04
ネ. 市役所窓口の対応	0.64	0.66	0.81	0.56	0.64	0.65	0.63	0.60	0.52	0.82
ノ. 市民活動センターやコミセン等 地域コミュニティ施設	0.37	0.48	0.63	0.40	0.57	0.42	0.39	0.20	0.46	0.68



3「ごみ減量化」

(1) ごみ減量化やリサイクルへの関心について

ごみ減量化やリサイクルについて、「関心を持っている」方がほとんど！
「非常に関心がある」「少し関心がある」が約9割

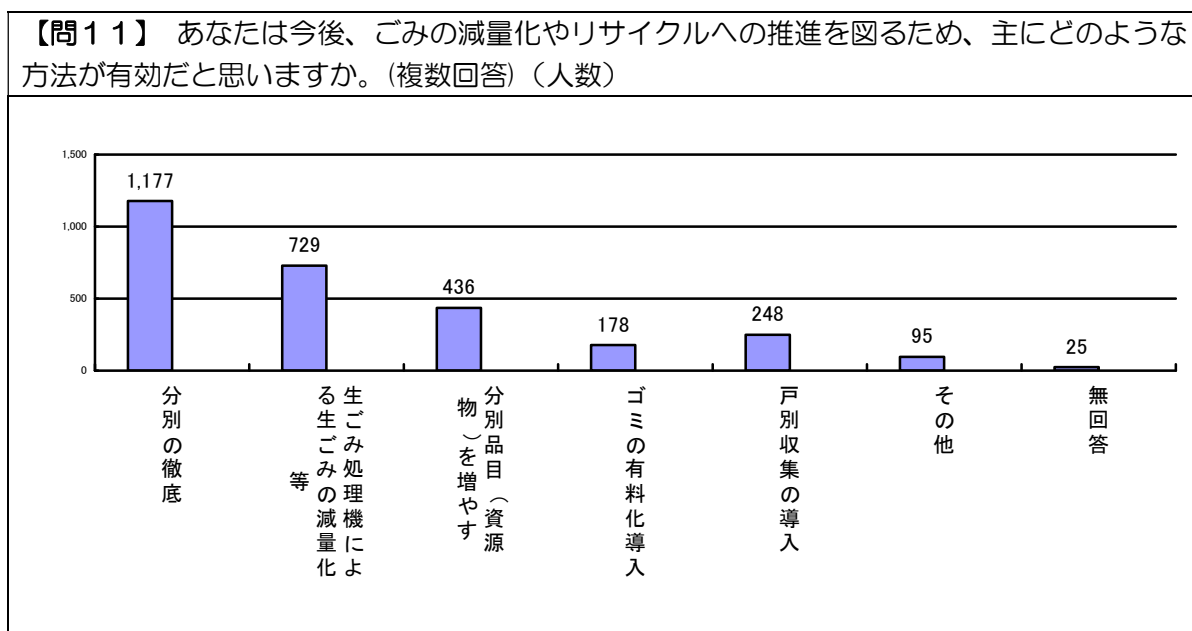


「あなたの、ごみの減量化やリサイクルへの関心についてお聞かせください。」という設問に対し、「非常に関心がある」31.5%、「少し関心がある」56.6%となっていて、合計 88.1%の方が関心を持っているという結果になった。

「性別」では、「男性」87.7%、「女性」88.4%となっている。

「年代別」で、「非常に関心がある」は、「75 歳以上」が 46.7%で、年代が下がるにつれ、回答率も下がっている。

「地域別」では、1 位が「大谷地域」39.3%、2 位が「門沢橋地域」34.2%、3 位が「上郷・下今泉地域」33.7%、以下「国分地域」「上今泉地域」の順となっている。



「あなたは今後、ごみの減量化やリサイクルへの推進を図るため、主にどのような方法が有効だと思いますか。」という設問に対して、一番多かったのは「分別の徹底」77.8%、次いで2位は「生ごみ処理機による生ごみの減量化、生ゴミの水切り」48.2%、「分別品目（資源物）を増やす」28.8%となっている。

「性別」、「年代別」、「地域別」でも、順位の結果は変わらない。

地域別回答率について

「分別の徹底」

一番高いのは「海西地域」で83.7%、低いのが「国分地域」71.5%

「生ごみ処理機による生ごみの減量化、生ごみの水切り」

一番高いのは「社家地域」56.9%、低いのは「柏ヶ谷地域」43.2%

「分別項目（資源物）を増やす」

一番高いのは「門沢橋地域」で35.5%、低いのが「上郷・下今泉地域」20.5%

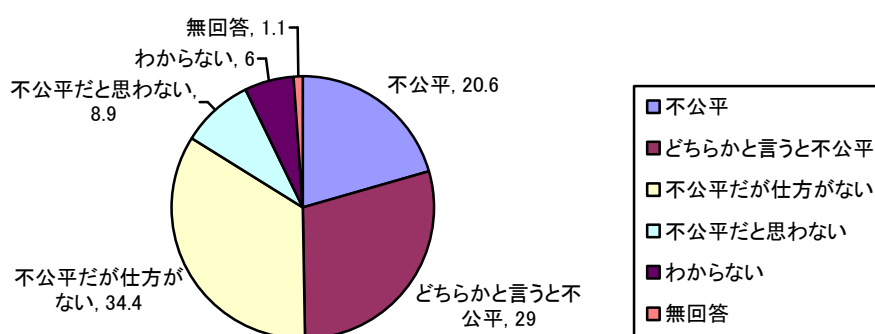
「ゴミの有料化導入」

一番高いのは「門沢橋地域」で14.5%、低いのが「社家地域」4.6%

「戸別収集の導入」

一番高いのは「本郷地域」で20.0%、低いのが「海西地域」10.2%

【問12】市では、分別の徹底などをしてごみを減らした人のごみも、無造作にたくさんのごみを出す人のごみも、税金を使って処理をしており、処理する費用に負担の差はありません。このことについてどう思いますか。

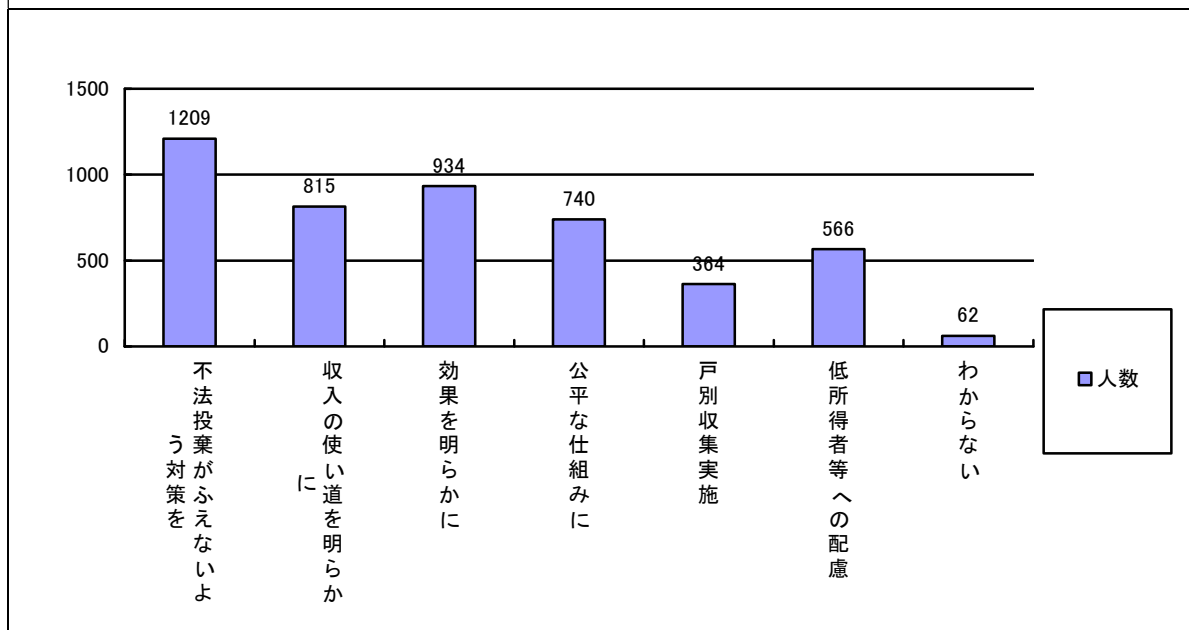


「市では、分別の徹底などをしてごみを減らした人のごみも、無造作にたくさんのごみを出す人のごみも、税金を使って処理をしており、処理する費用に負担の差はありません。このことについてどう思いますか。」という設問に対して、全体の回答で一番多かったのは「不公平だがしかたがない」34.4%、次いで2位は「どちらかと言うと不公平だと思う」29.0%、「不公平だと思う」20.6%「不公平だと思わない」8.9%となっている。

「性別」で一番多いのは「男性」、「女性」とともに「不公平だがしかたがない」になっている。

また、「不公平だと思う」の回答率が一番多かったのは「18～24歳」の「男性」で、42.0%、「不公平だと思わない」の回答が一番多かったのは「地域別」では、「本郷地域」が20.0%であった。

【問13】もし、海老名市が家庭ごみの有料化制度を導入するとしたらどのような点に気を付けるべきだと思いますか。（複数回答）（人数）



「もし、海老名市が家庭ごみの有料化制度を導入するとしたらどのような点に気を付けるべきだと思いますか。」という設問に対しての全体の回答は次のとおりとなっている。

1 位「不法投棄が増えないよう対策を行う。」79.9%、2 位「有料化による効果を明らかにする。」61.7%、3 位「有料化による収入の使い道を明らかにする。」53.9%

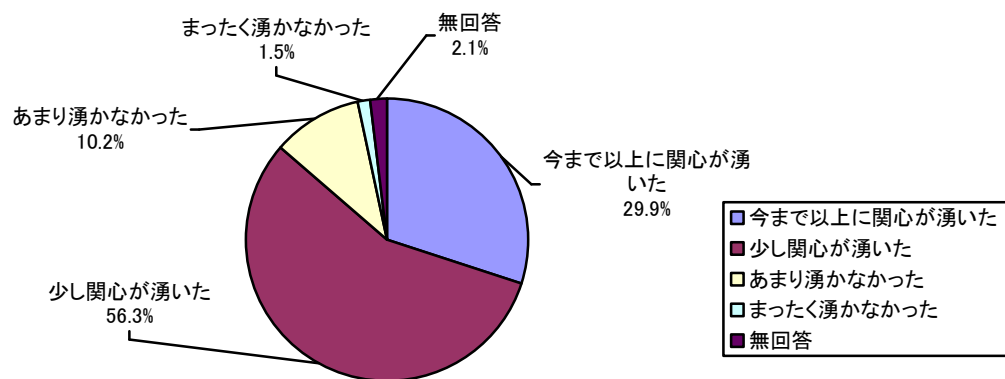
「性別」の「男性」では、1 位「不法投棄が増えないよう対策を行う。」77.6%、2 位「有料化による効果を明らかにする。」61.1%、3 位「ごみの減量化に努力する人にとって公平な仕組みとする。」53.7%で3 位が違う項目となっている。

「性別」の「女性」では全体の順位と同じ結果となり、1 位「不法投棄が増えないよう対策を行う。」82.0%、2 位「有料化による効果を明らかにする。」62.2%、3 位「有料化による収入の使い道を明らかにする。」56.2%、となっている。

「地域別」では、「上郷・下今泉地域」の1 位が「不法投棄が増えないよう対策を行う。」と全体の回答や他地域と同様だが、91.6%と、最も高い回答率となった。



【問1 4】今までの質問を通じて、ごみの減量化やリサイクルへの関心に変化はありましたか。



「今まで以上に関心が湧いた」と「少し関心が湧いた」の合計は 1,305 人 86.2%と高い回答率だった。

なかでも「地域別」の「本郷地域」では、併せて 90%と高い回答率である。

「年代別」では、「75 歳以上」の「今まで以上に関心が湧いた」の回答率が一番高く、48.0%となっている。

また、「今まで以上に関心が湧いた」の項目では、「18～24 歳」の 16.7%が一番低い結果となった。

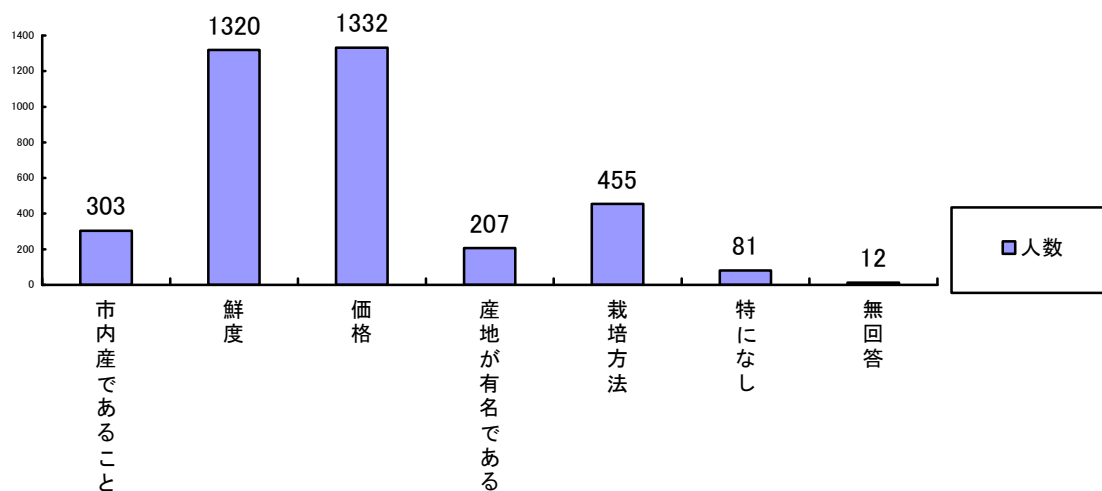


4「農業について」

(1) 農作物を購入する際重視すること

◎1 位は「価格」が約 9 割、2 位が「鮮度」

【問 1 5】あなたは野菜や果物を買うときにどのような点を最も重視しますか。(複数選択可)



前回の設問では、「あなたが市内産の農作物を購入する場合に「魅力」を感じるのはどれですか」に対して、今回は「あなたは野菜や果物を買うときにどのような点を最も「重視」しますか。」となっており、前回の「魅力」と今回の「重視」では少し回答も変わってくるかと思われるが、前回最も高いのは「鮮度」で 68.8%、続いて「価格」42.4%「特に市内産にこだわらない」31.4%となっている。

今回の設問では、1 位は「価格」が 88.0%で、2 位が「鮮度」87.2%となっている。

「性別」でみると、「女性」が最も重視するのは「鮮度」であり、「男性」は「価格」となっている。

「性別」の「年代別」では差が明らかに出ており、「男性」は「18～74歳」までが「価格」重視、唯一「75歳以上」が「鮮度」重視となっている。

それに比較して「女性」は「18～39歳」までは「価格」重視だが、「40歳以上」になると「鮮度」重視に変わる。

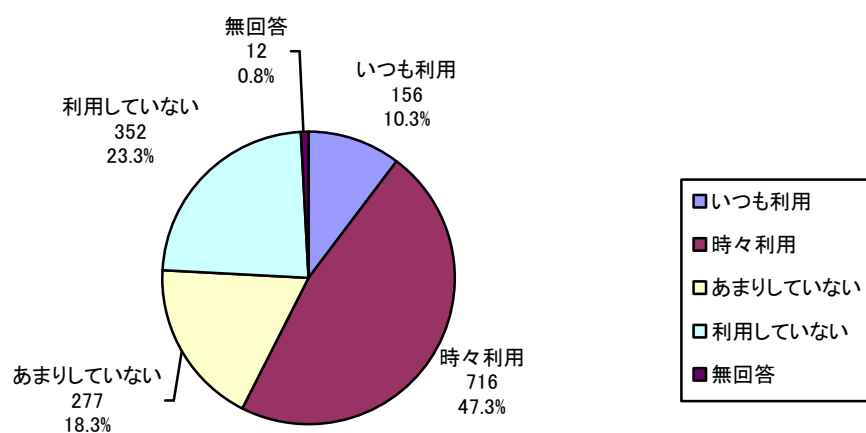
「地域別」では、「価格」が 1 位となっているのは「柏ヶ谷地域」、「海西地域」、「大谷地域」、「社家地域」、「門沢橋地域」である。

「鮮度」が 1 位になっているものは「上今泉地域」、「国分地域」、「杉久保地域」、「本郷地域」となっていて、「上郷・下今泉地域」は「鮮度」と「価格」が同率である。

「性別」「年齢別」でみると、「市内産であること」を重視するのは、「男性」も「女性」も「75歳以上」が 1 位となっている。

「地域別」で、「市内産であること」を重視するのは「門沢橋地域」30.3%、「大谷地域」26.9%、「本郷地域」25.0%となっている。

【問16】あなたは海老名産の農産物の直売所を利用していますか。



◎直売所いつも利用は 1 割

「あなたは海老名産の農産物の直売所を利用していますか。」という設問に対しての全体の回答は「いつも利用している」10.3%、「ときどき利用している」47.3%、「あまり利用していない」18.3%、「利用していない」23.3%となっている。

「性別」では、「いつも利用している」と「ときどき利用している」の合計が、「男性」54.6%、「女性」が60.5%となり、わずかであるが女性が多くなっている。

「年代別」の「いつも利用している」では、「18～24 歳」が0%で、年代が上になるほど%が高くなり、「75 歳以上」が最も高く、17.6%となっている。

また、「地域別」では「いつも利用している」「利用していない」で格差があり、「柏ヶ谷地域」が「いつも利用している」2.1%「利用していない」45.2%で、「本郷地域」が反対に「いつも利用している」30.0%「利用していない」10.0%となっている。

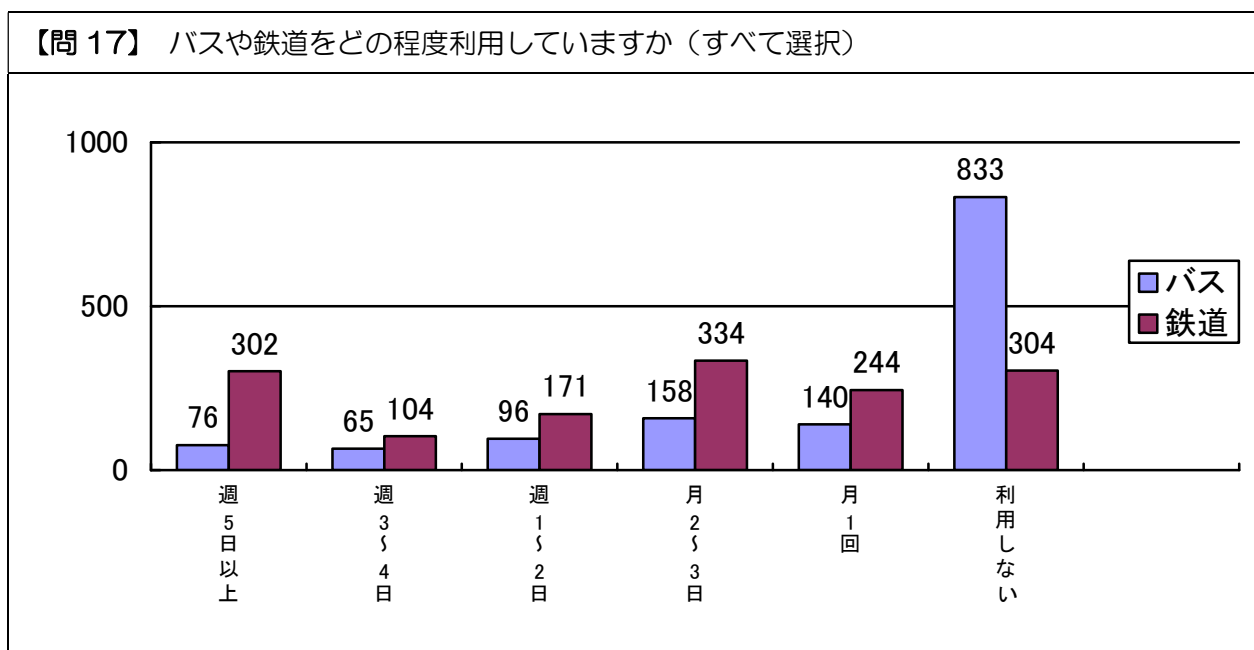
「居住年数」では、「1 年未満」の「いつも利用している」が 3.1%と低く、「40 年以上」は 17.5%で、「年代別」の 1 位となっている。



5 「公共交通」

(1) バスや鉄道の利用頻度

◎バスは「ほとんど利用しない」半数以上



問 17-1 の「あなたはバスをどの程度利用していますか。」という設問に対して、全体の回答は「週 5 日以上」5.0%、「週 3～4 日程度」4.3%、「週 1～2 日程度」6.3%、「月 2～3 日程度」10.4%「月 1 日程度」9.3%「ほとんど利用しない」55.1%となっている。

「年代別」で「ほとんど利用しない」は、どの年代も 30%を超えていて、最も高いのは「30～39 歳」の 66.8%となっており、「40～49 歳」も、66.6%と高い割合となっている。

反対に、「週 5 日以上」バスを利用している方は、「25～29 歳」が 16.0%、「30～39 歳」が 10.5%となっているが、他の年代では 1 割を超えていない。

◎鉄道利用「週 5 日以上」は「2 割」

問 17-2 の「あなたは鉄道をどの程度利用していますか。」という設問に対して、全体の回答は「週 5 日以上」20.0%、「週 3～4 日程度」6.9%、「週 1～2 日程度」11.3%、「月 2～3 日程度」22.0%「月 1 日程度」16.1%「ほとんど利用しない」20.1%となっている。

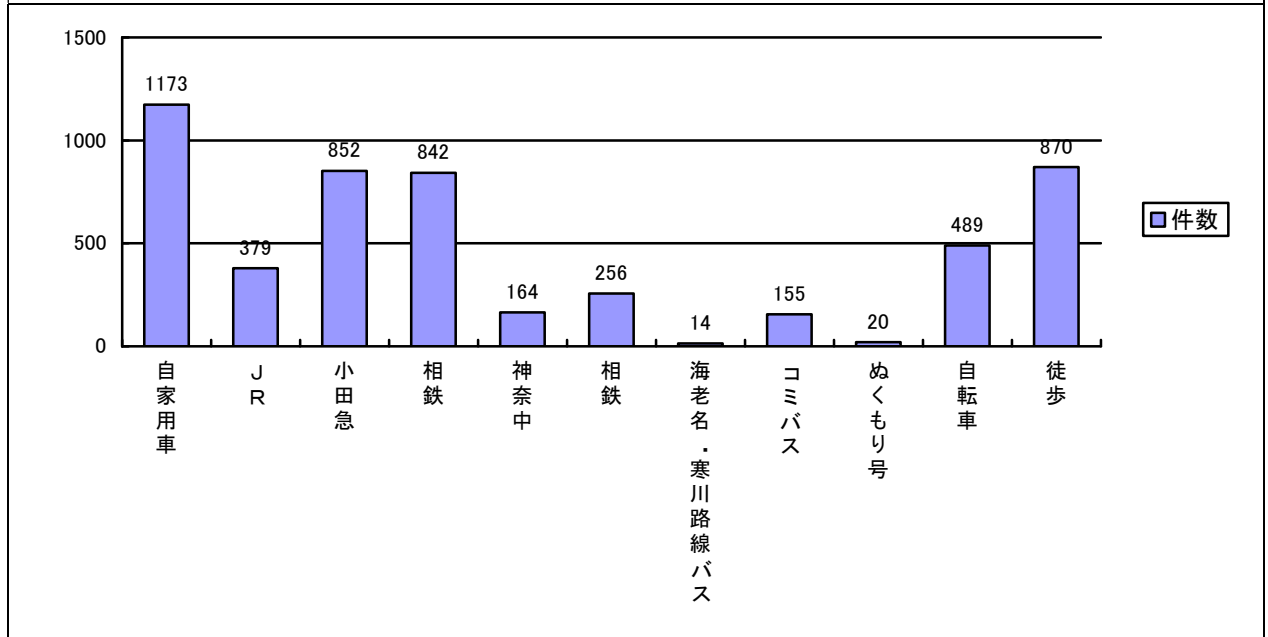
前回調査での、「あなたは、バスや鉄道をどの程度利用していますか」という質問に対し、最も高かったのは「ほとんど利用しない」で 38.4%、次に「月 2～3 日程度」が 17.6%、続いて「週 5 日以上」が 15.7%となっていた。

「年代別」で「週 5 日以上」利用しているのは「18～24 歳」51.7%、「25～29 歳」44.0%「30～39 歳」38.4%と年齢が上がるにつれて低くなっていく。

ほとんど利用しない」については、最も高いのは「60～64 歳」24.9%2 位は「75 歳以上」の 24.5%となっている。

「地域別」では、「週 5 日以上」は国分地域が 24.7%と最も高く、次に「上郷・下今泉地域」24.1%、「柏ヶ谷地域」23.2%となっている。一番低いのは「門沢橋地域」で、7.9%となっている。

【問18】レジャー、買い物で普段利用する移動手段はなんですか。（複数選択）



◎「自家用車」が77.5%、「徒歩」57.5%

「あなたが、レジャー、買い物等で普段利用する移動手段は何ですか」という設問に対し、最も高いのは「自家用車」で77.5%、続いて「徒歩」57.5%、となっている。

「性別」では、「自家用車」、「自転車」は「男性」の割合が高く、他の選択項目では「女性」の割合が高くなっている。

「年代別」にみると、「自家用車」は「50歳代」が89.0%で最も高く、電車は、「J R」が「65～74歳」、「小田急」が「18～24歳」、「相鉄」が「25～29歳」で最も高くなっている。

反対に、電車の利用で低いのは「60～64歳」となっている。バスは、「神奈中」、「相鉄」共に「75歳以上」が最も高く、「コミュニティバス」、「めくもり号」も「75歳以上」が高くなっている。「自転車」と「徒歩」は、「18～24歳」が最も高くなっている。

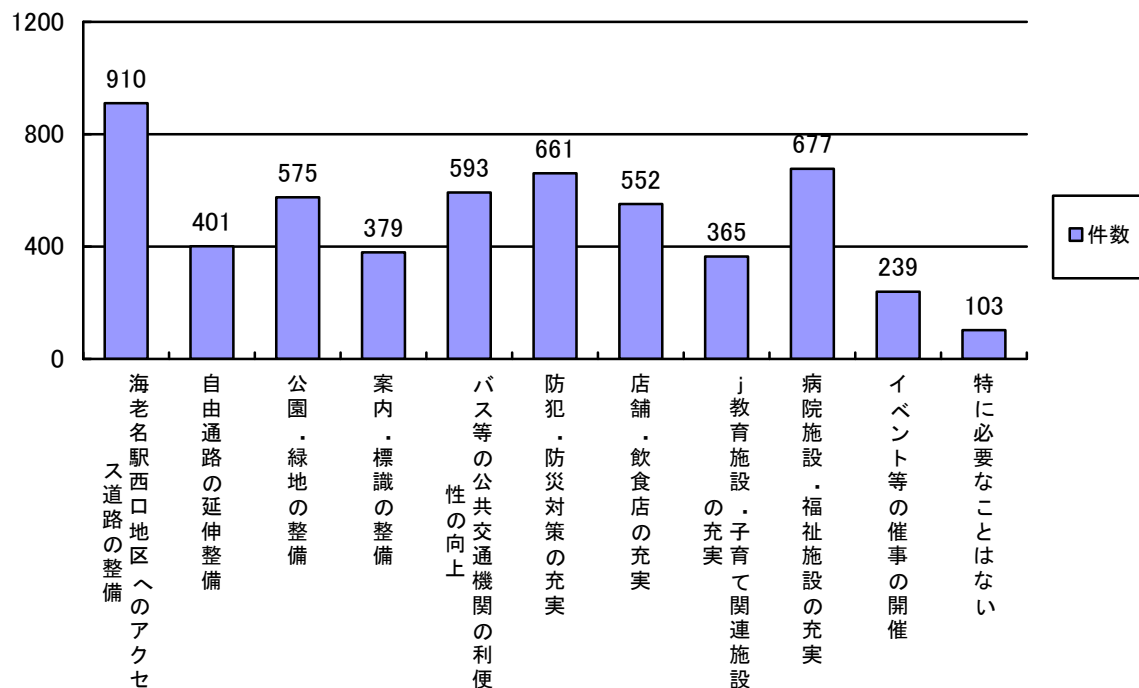
「地域別」で、それぞれ最も高いのは、「自家用車」は「本郷地域」の90.0%、「電車（J R）」は「門沢橋地域」の55.3%、「電車（小田急）」は「海西地域」の69.3%、「電車（相鉄）」は「柏ヶ谷地域」の72.6%、「バス（神奈中）」は「社家地域」の27.7%、「バス（相鉄）」は「杉久保地域」の53.3%、「海老名駅・寒川駅間路線バス」は「本郷地域」の15.0%、「コミュニティバス」は「上今泉地域」の41.3%、「めくもり号」は「門沢橋地域」の6.6%、「自転車」は「海西地域」の51.6%、「徒歩」は「国分地域」の68.7%となっている。



6「まちづくり」

(1) 海老名駅西口地区、駅周辺のまちづくりについて

【問19】 海老名駅西口地区をはじめ、海老名駅周辺の中心市街地をよりよくしていくために何が必要だと思いますか。(複数選択)



◎1 位「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」

「海老名駅西口地区をはじめ、海老名駅周辺の中心市街地をよりよくしていくために何が必要だと思いますか。」という設問に対し、全体では「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」が60.1%と最も高く、次に「病院施設・福祉施設の充実」44.7%、「防犯・防災対策の充実」43.7%となっている。

「性別」においても、「男性」・「女性」ともに「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」が最も高く、63.7%、56.8%となっている。

「年代別」にみても、すべての年代の1位が「海老名駅西口地区へのアクセス道路の整備」となっている。

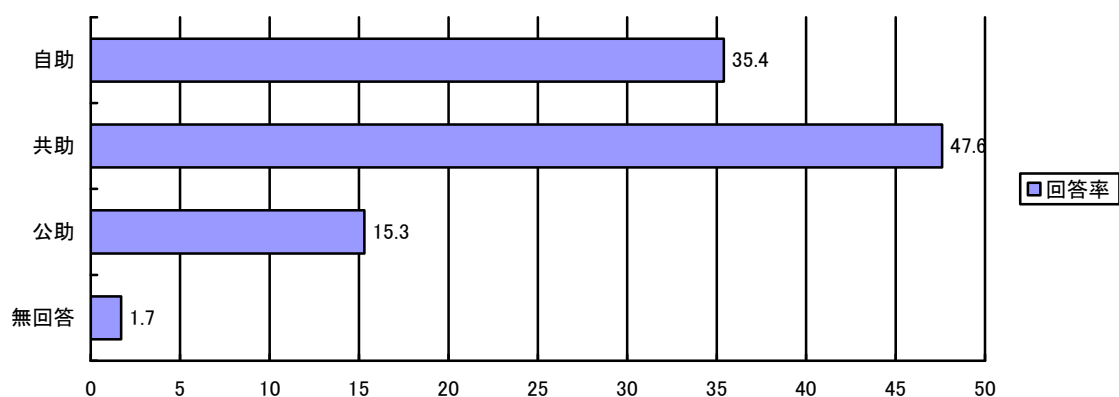


7「防災対策」

(1) 災害対策に必要なもの

◎「共助」が47.6%

【問 20】 あなたは、災害対策として次のどれが最も大切だと思いますか。（1つ選択）



「あなたは、災害対策として次のどれが最も大切だと思いますか。」という設問に対し、全体では、「共助（互いに協力し助け合う）」が47.6%と最も高く、続いて「自助（自らのことは自ら守る）」が35.4%、「公助（市が実施する災害対策）」が15.3%となっている。

「性別」でみても順位は変わらない。

最も「自助」の回答率が高いのが、「18～24 歳」の「女性」で、45.7%となっている。反対に、最も「自助」の回答率が低いのは「18～24 歳」の「男性」で、15.8%となっている。

最も「公助」の回答率が高いのは、「60～64 歳」の「女性」で、22.2%となっている。反対に、最も「公助」の回答率が低いのは「25～29 歳」の「男性」で、8.0%となっている。

「地域別」では、最も「自助」の回答率が高いのが、「社家地域」で、反対に、最も「自助」の回答率が低いのは「上今泉地域」となっている。

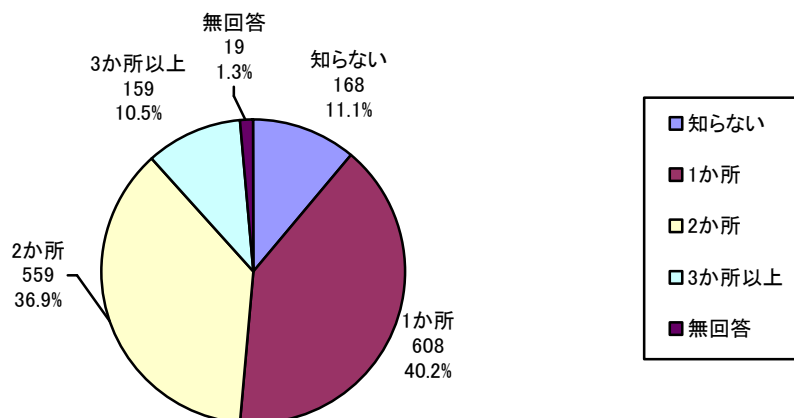
「地域別」で、最も「公助」の回答率が高いのは、「国分地域」で、反対に、最も「公助」の回答率が低いのは「門沢橋地域」となっている。



(2) 避難所の箇所

◎「知らない」は11.1%

【問21】地震や大雨での災害で自宅から避難するときに、あなたは周辺の避難所をいくつ知っていますか。(一つ選択)



「地震や大雨での災害で自宅から避難するときに、あなたは周辺の避難所をいくつ知っていますか。」という設問に対し、1位は「1か所」40.2%、次は「2か所」36.9%となっている。

「知らない」が11.1%となっており、9割近い方は避難所を1か所以上知っている。

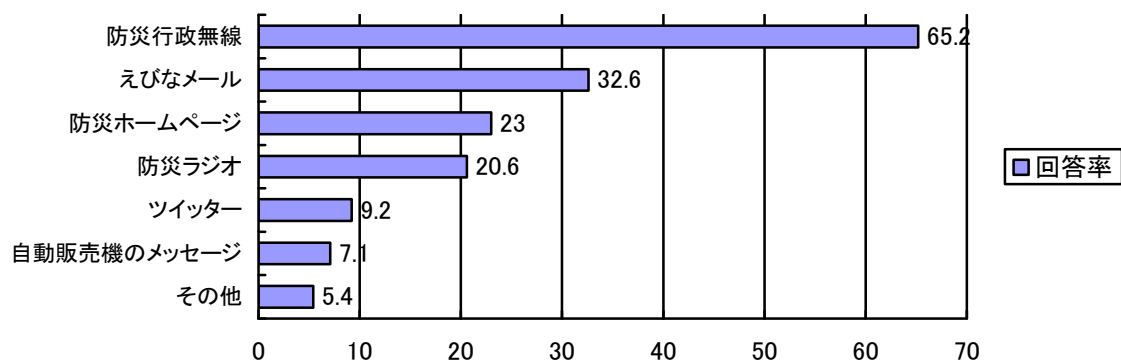
「性別」でみると、「男性」12.8%、「女性」9.5%が「知らない」となっており、「年代別」では、「25～29歳」34.0%で1位、2位が「18～24歳」、3位が「30～39歳」となっている。

「地域別」では、「社家地域」で「知らない」が18.5%と一番高く、反対に「門沢橋地域」で「知らない」のは6.6%となっていて、一番低くなっている。

(3) 情報入手手段

◎「防災行政無線」65.2%

【問22】大雨、地震などの災害時に、市からの情報を何から手に入れますか。(複数回答)



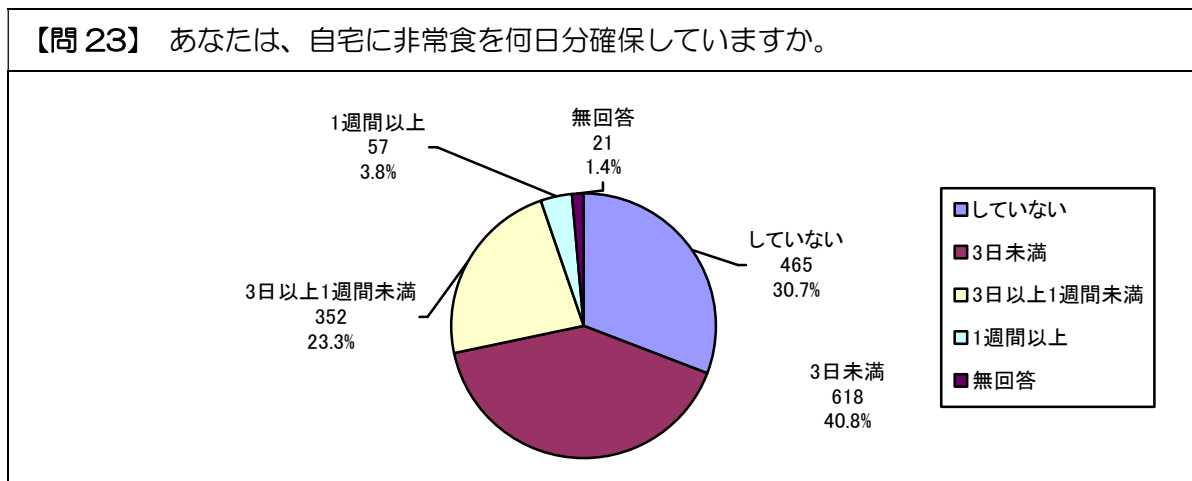
「大雨、地震などの災害時に、市からの情報を何から手に入れますか。」という設問に対し、全体では1位「防災行政無線」65.2%、2位「えびなメール」32.6%、3位「海老名市防災ホームページ」23.0%となっている。

「性別」にみても、順位は変わらない。

「防災行政無線」は「性別」で「60 歳～64 歳」の女性が 83.3%と一番高く、「60 歳～64 歳」でも「男性」では、59.4%となっている。

(4) 非常食の確保

◎一番多いのは「3 日未満」で4割超



「あなたは、自宅に非常食を何日分確保していますか。」という質問に対し、全体では、「3 日未満」が 40.8%と最も高く、続いて、「していない」30.7%、「3 日以上 1 週間未満」23.3%となっている。

「性別」でみても順位は変わらず、1 位は「男性」「女性」とともに「3 日未満」となっている。

「していない」は「年代別」でみると「18～24 歳」が 57.4%で最も高く、「65～74 歳」が 22.5%と最も低い。また、「男性」33.4%、「女性」28.5%と男性の割合が高い。

「地域別」にみると、「していない」は、高い順に、「社家地域」38.4%、「柏ヶ谷地域」34.4%、「上今泉地域」が 31.3%となっている。

「1 週間以上」確保している、が多い地域は、「上郷・下今泉地域」7.2%、「大谷地域」4.6%、「海西地域」4.2%となっている。

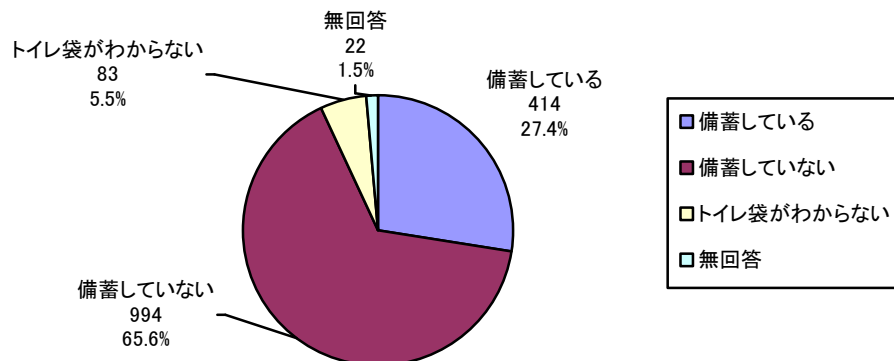
「居住年数別」では、「1 年未満」「1 年以上5年未満」の多い回答が「していない」となっている。他の年数では、すべて「3日未満」となっている。



(5) 携帯トイレ

◎備蓄していない65.6%

【問 24】 トイレ袋（携帯トイレ）を備蓄していますか。（一つ選択）



「トイレ袋（携帯トイレ）を備蓄していますか。」という設問に対し、全体の回答は「備蓄していない」が最も多く 65.6%であった。

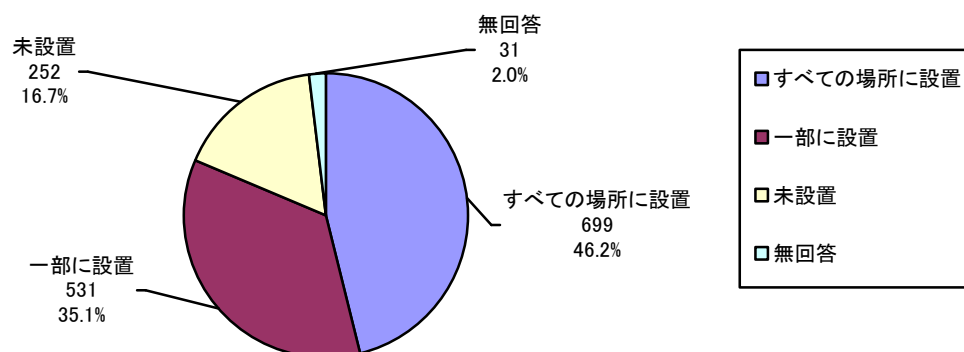
「性別」でみても、順位は変わらない。「男性」67.7%、「女性」63.9%が「備蓄していない」となっている。「年代別」にみると、「備蓄している」で最も多いのは「40～49 歳」で、34.2%となっている。「性別」「年代別」でみた「備蓄している」で最も多いのは「女性」の「50～59 歳」で、33.6%となっている。「地域別」では、「備蓄している」が高い順に、「海西地域」32.1%、「国分地域」29.9%、「柏ヶ谷地域」28.2%となっている。

反対に、「備蓄していない」は「年代別」でみると「25～29 歳」で 80.0%、「地域別」では高い順に「社家地域」78.5%、「門沢橋地域」71.1%、「本郷地域」70.0%となっている。

(6) 火災警報器

◎「設置」は8割超え

【問 25】 住宅用火災警報器の設置が義務づけられてから 10 年が経過しました。あなたは、自宅に住宅用火災警報器を設置していますか。（一つ選択）



「あなたは、自宅に住宅用火災警報器を設置していますか。」という設問に対しての全体の回答は、「設置（すべての場所）」46.2%と「一部に設置」35.1%を合わせると 81.3%、となっている。

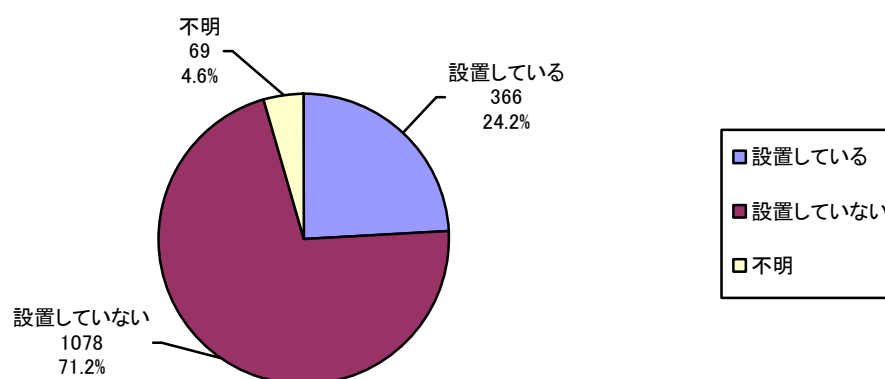
「地域別」でみると、「設置（すべての場所）」が一番多いのが「社家地域」66.2%、2位「国分地域」54.0%、3位「海西地域」49.3%、4位「上今泉地域」46.7%、5位「門沢橋地域」46.1%となっている。

「居住年数別」では、上位が、1位「5年以上 10年未満」69.8%、2位が「1年未満」68.7%、3位が「1年以上 5年未満」66.1%となっていて、「設置（すべての場所）」の最も低いのが「40年以上」35.0%、2番目に低いのが「30年以上 40年未満」、次に低いのが「10年以上 20年未満」49.0%となっている。

（6）感震ブレーカー

◎「設置していない」は7割超

【問26】 地震による火災の主な原因である電気火災を防ぐため、自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」は有効な対策です。あなたは、「感震ブレーカー」を設置していますか。（一つ選択）

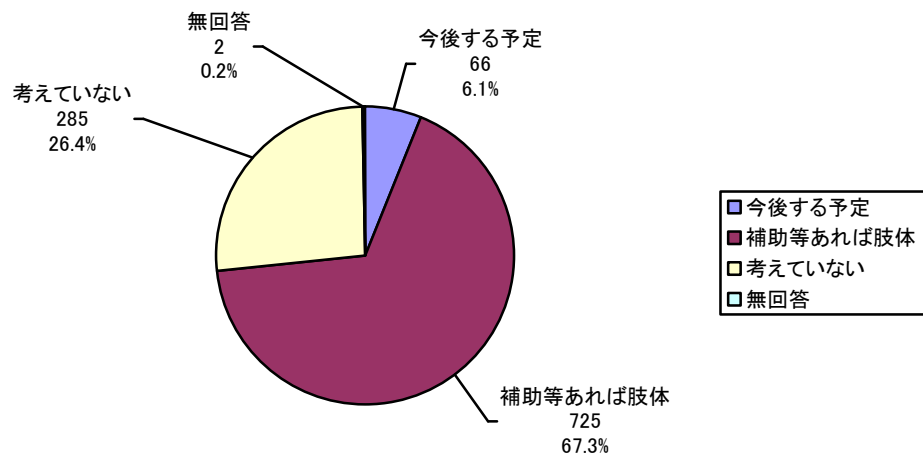


「地震による火災の主な原因である電気火災を防ぐため、自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」は有効な対策です。あなたは、「感震ブレーカー」を設置していますか。」という質問に対しての全体の回答は、「設置している」24.2%、「設置していない」が71.2%となっている。

「地域別」でみると、「設置している」が一番多いのが「社家地域」29.2%、2位「国分地域」28.2%、3位「海西地域」27.9%、4位「柏ヶ谷地域」26.1%、5位「上今泉地域」26.0%となっている。

「居住年数別」では、上位が、1位「5年以上 10年未満」28.4%、2位が「1年未満」28.1%、3位が「1年以上 5年未満」27.8%となっていて、火災報知器の設置状況の順位と同一になっている。また、「設置していない」の最も高いのは「30年以上 40年未満」と「10年以上 20年未満」が同率1位で73.4%となっている。

【問26-1】 今後設置を考えていますか。(一つ選択)



「地震による火災の主な原因である電気火災を防ぐため、自動的にブレーカーが落ちる「感震ブレーカー」は有効な対策です。あなたは、「感震ブレーカー」を設置していますか。」という質問に対しての全体の回答で、「設置していない」が71.2%となっている。

この、「設置していない」と回答した方に対しての設問で、「今後設置を考えていますか」の1位は「補助等があれば設置したい」67.3%、2位は「設置は考えていない」26.4%、「今後設置をする予定」は6.1%だった。

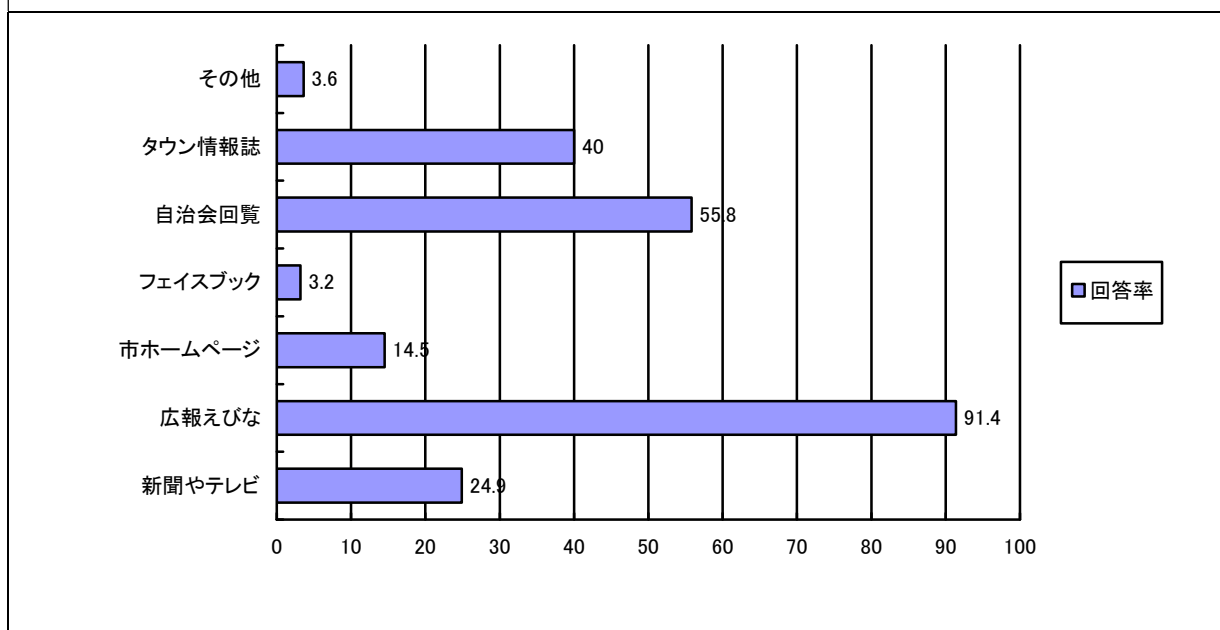


8 広報・情報化

(1) 情報源

◎「広報えびな」は91.4%

【問27】 あなたは、市の行事や出来事などを、何から知りますか。（複数選択）



「あなたは市の行事や出来事などを、何から知りますか」との質問に対し、全体の回答で最も高かったのは「広報えびな」で91.4%となっている。続いて2位「自治会回覧」55.8%、3位が「タウン情報誌」40.0%となっている。

前回の調査において、「市が発信している情報媒体の中で、あなたが利用しているものはどれですか」という設問に対し、最も高いのは「広報えびな」で86.3%（「男性」86.2%、「女性」86.5%）、続いて「自治会回覧板」が56.8%（「男性」56.6%、「女性」56.9%）、「タウン誌」38.6%（「男性」34.9%、「女性」41.9%）となっていた。

前回の調査において、「年代別」では、「18～24歳」だけが違う結果となり、1位が「フェイスブック」であった。

今回の調査を「性別」でみると、「広報えびな」は「男性」90.0%、「女性」92.6%となっていて、わずかにだが女性が多くなっている。

「広報えびな」を「利用をしている」のは、「30代以上」すべての年代において90%を超えた高い数字となっている。

「項目別」の「年代別」を見ると、「新聞やテレビ」の1位は「75歳以上」36.1%、「広報えびな」の1位は「60～64歳」95.7%、「市のホームページ」は「40～49歳」21.6%、フェイスブック「18～24歳」11.1%、「自治会回覧」は、「75歳以上」74.7%、「タウン情報誌」「65～74歳」の47.4%が一番高くなっている。

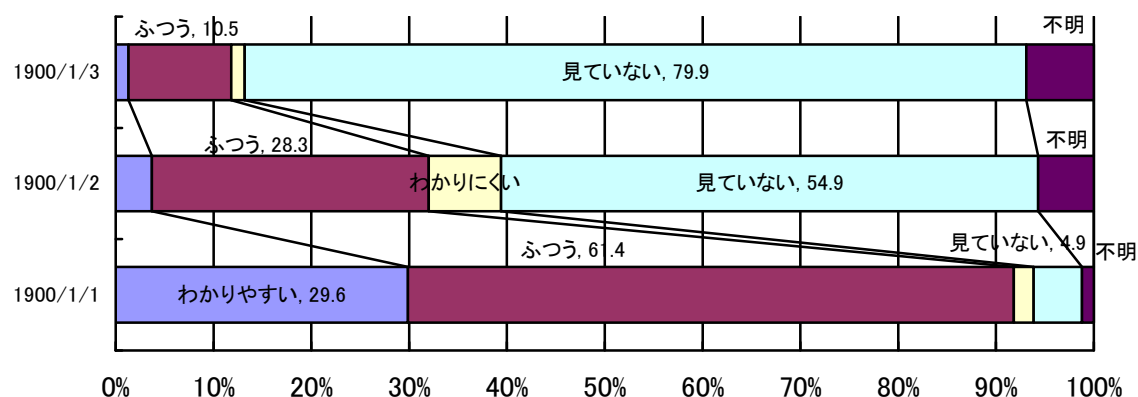
「地域別」では、「広報えびな」は「柏ヶ谷地域」と「上郷・下今泉地域」の2つの地域を除く全地域で90%以上と高くなっていて、なかでも「門沢橋地域」では、97.4%というかなり高い数字となっている。

「自治会回覧」は、「本郷地域」で72.5%、「上今泉地域」で66.0%、「大谷地域」で63.0%と高くなっている。

「市ホームページ」は「社家地域」の18.5%が最も高くなっている。

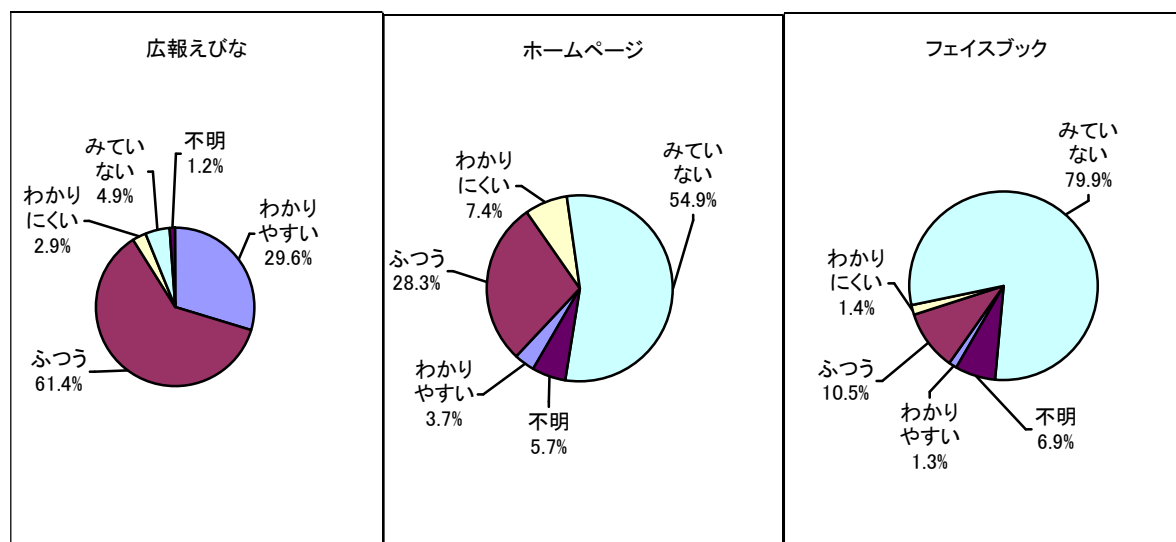
(2) 情報のわかりやすさ

【問28】 現在の「広報えびな」「ホームページ」などの内容について、どう思われますか。



市が情報を発信している「フェイスブック」「ホームページ」「広報えびな」の内容について、「わかりやすい」、「ふつう」、「わかりにくい」、「見ていない」の中から選択してもらったところ、「広報えびな」は「ふつう」61.4%、「市ホームページ」は「見ていない」54.9%、「フェイスブック」は「見ていない」79.9%が一番多かった。

「わかりやすい」と答えた方の割合を、前回調査と比較すると、「広報えびな」が前回 39.3% から 29.6%とマイナス 9.7%、「市ホームページ」が前回 5.1%から今回 3.7%とマイナス 1.4%、「フェイスブック」だけが前回 0.9%から今回 1.3%と 0.4%増えている。

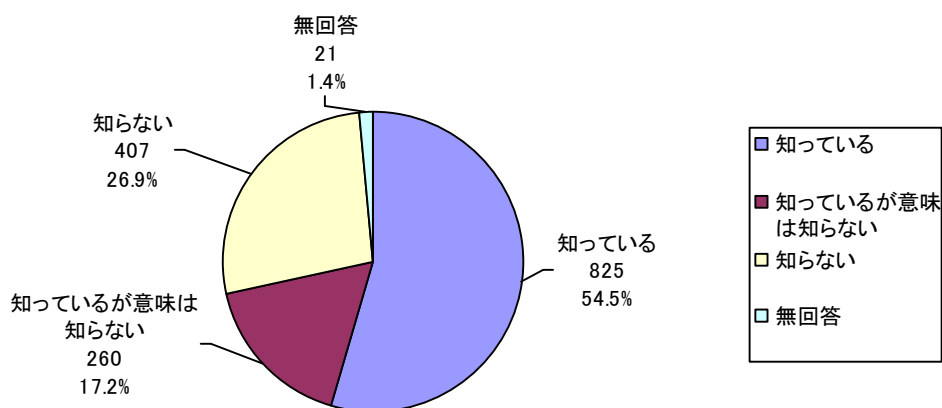


男女共同参画

(1) 男女共同参画について

◎「知っている」は、54.5%

【問29】「男女共同参画」という言葉を知っていますか。(1つ選択)



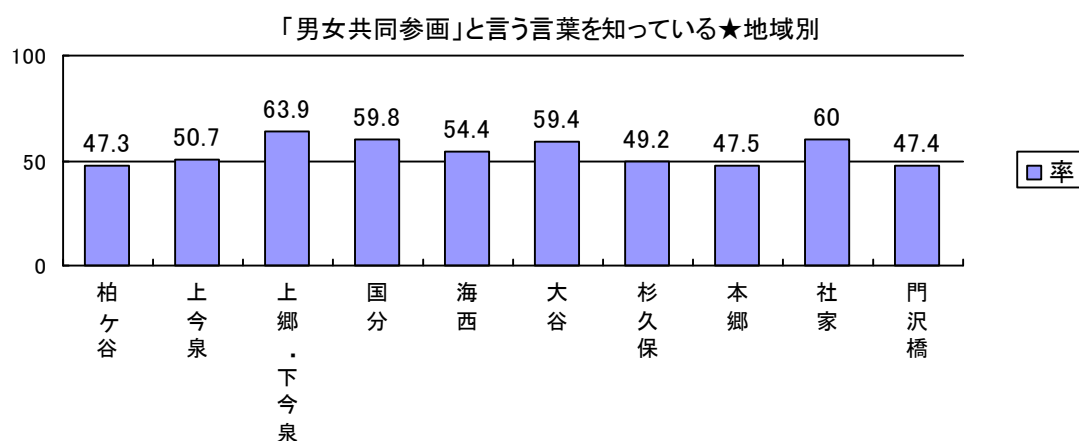
「『男女共同参画』という言葉を知っていますか。」という設問に対し、「知っている」は54.5%で前回の59.0%から4.5%マイナスとなった。「知っているが意味は知らない」は17.2%で、前回14.2%から3%アップした。「知らない」は26.9%で、前回26.2%から0.7%増となった。

「性別」でみると、「知っている」は男性60.6%、女性48.9%、反対に「知らない」は「男性」22.3%、「女性」31.0%となっている。

「年代別」でみると、「知っている」は「18～24歳」が72.2%と最も高くなっていて、前回の66.0%から6.2%アップしている。

「性別」を「年代別」にみると、「男性」は「25～29歳」が77.2%、続いて「75歳以上」が66.4%となっている。「女性」は、「18～24歳」が77.2%、続いて「50～59歳」が55.4%となっている。

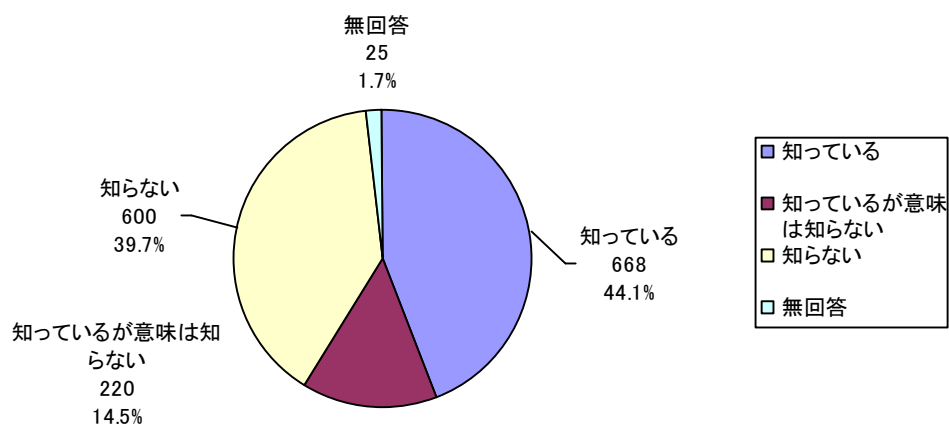
「知っている」を地域別にみると、高い順に「上郷・下今泉地域」63.9%、「社家地域」60.0%、「国分地域」59.8%となり、「知らない」率の高い地域は「本郷地域」35.0%、「柏ヶ谷地域」32.8%、続いて「門沢橋地域」31.6%となっている。



(2) ワーク・ライフ・バランスについて

◎「知っている」は、男性が約5割、女性は約4割

【問30】「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(1つ選択)



『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っていますか。」という質問に対し、全体の回答は「知っている」は44.1%、「知っているが意味は知らない」は14.5%、「知らない」は39.7%となっている。

「性別」でみると、「知っている」は「男性」52.3%、「女性」37.1%、反対に「知らない」は「男性」33.8%、「女性」44.6%となっている。

「年代別」でみると、「知っている」は「40～49 歳」が53.2%で最も高く、続いて「30～29 歳」52.1%、「25～29 歳」が52.0%と続いている。

「性別」「年代別」にみると、「男性」は25 歳以上64 歳までが56.6%～64.5%と高くなっていて、その中でも特に「40～49 歳」が64.5%と高い割合になっている。

「知っている」を「地域別」にみると、高い順に「上郷・下今泉地域」53.1%、「国分地域」51.3%の2 地区が、5 割を超えている。

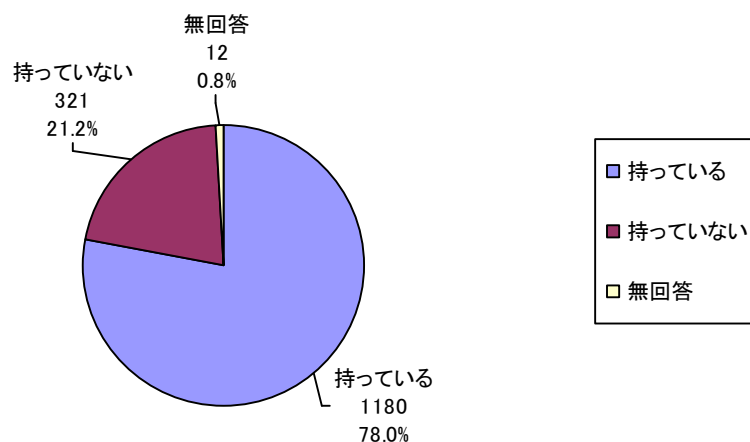
逆に、「知らない」率の高い地域が「本郷地域」50.0%で、この地域のみ5 割を超えている。



10 運転免許証返納制度について

(1) 運転免許所有状況

【問31】運転免許証を持っていますか（1つ選択）



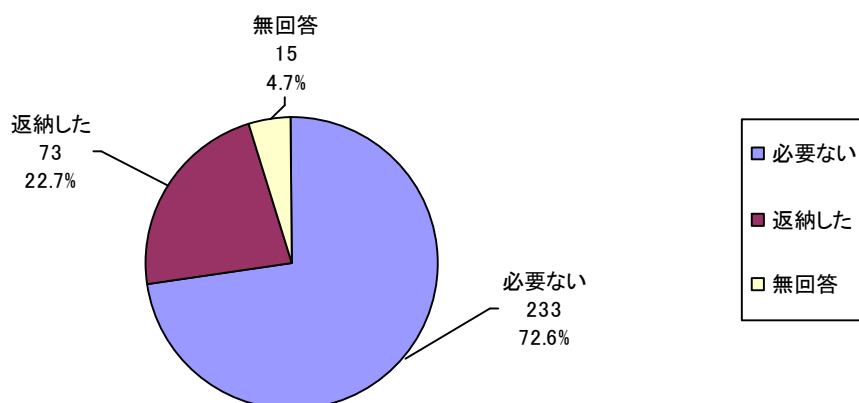
「運転免許証を持っていますか。」という質問に対し、全体の回答は「持っている」78.0%、「持っていない」は21.2%となっている。

「性別」でみると、「持っている」は「男性」87.9%、「女性」69.2%となっている。

「年代別」でみると、「持っている」は「40～49歳」94.6%、「50～59歳」94.5%。「30～39歳」は92.1%と9割を超えていて、ほとんどの方が運転免許証を所有している。

「性別」「年代別」にみると、「男性」は「75歳以上」が58.2%で低く、他の年代では約8割の方が持っている。しかし、「女性」は30歳から59歳までは約9割が持っているが、60歳以上では、「60～64歳」69.4%、「65～74歳」56.2%、「75歳以上」16.4%と年齢が上がるにつれて所有率が低くなっている。

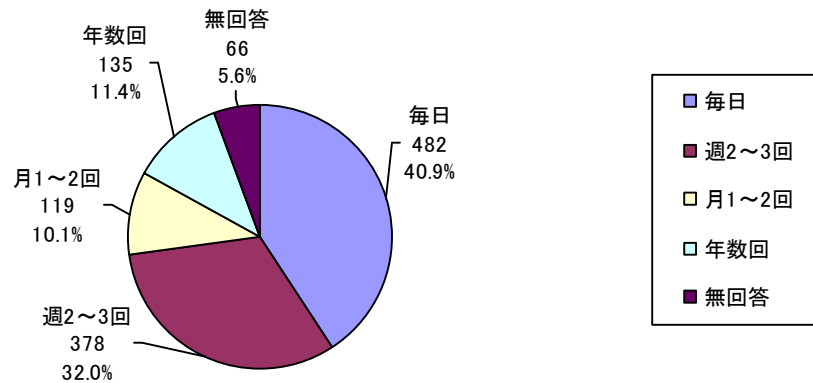
【問31-1】持っていない理由はなぜですか。（1つ選択）



◎運転免許証返納者は73人

問31で運転免許証を「持っていない」と回答した方321人に、「運転免許証を持っていない理由はなぜですか。」と質問したところ、「必要がない」が72.6%、「返納した」が22.7%であった。

【問32】現在、どのくらい車を運転されていますか。（1つ選択）



問31で運転免許証を「持っている」と回答した方 1,180 人に、「現在、どのくらい車を運転されますか。」と質問したところ、1 番多かったのが「毎日」40.9%、次に「週に 2~3 回」32.0%となった。

「性別」で「毎日」運転している方は、「男性」が 38.7%、「女性」が 42.4%と女性が多くなっている。

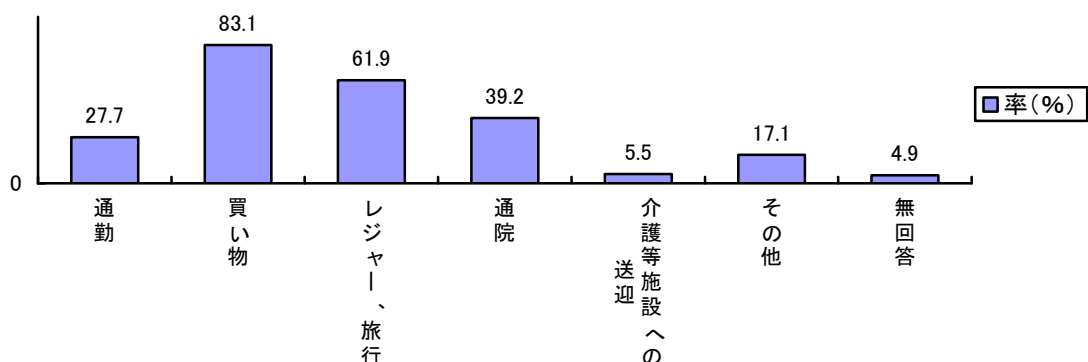
「年代別」で「毎日」運転している方が多いのは、1 位「40~49 歳」44.7%、2 位「60~64 歳」44.5%、3 位「50~59 歳」42.7%となる。

また、「性別」「年代別」では、「男性」で最も高いのが「50~59 歳」41.2%で、「女性」は「60~64 歳」51.0%となり、最も運転頻度が高くなっている。

「地域別」にみると、「本郷地域」が最も高く、66.6%で、反対に低い地域は「国分地域」29.3%となっている。

（2）自動車利用理由

【問33】車を利用する主な理由は。（複数選択）

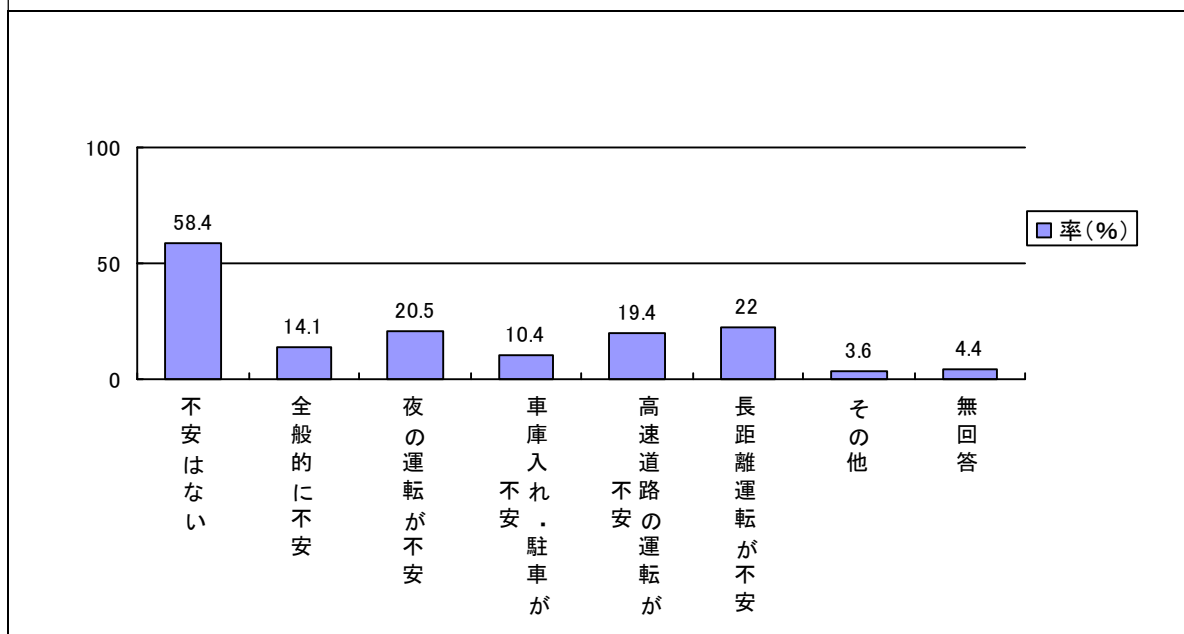


問31で運転免許証を「持っている」と回答した方 1,180 人に、「車を利用する主な目的は。」と質問したところ、最も多かったのが「買い物」83.1%、次に「レジャー、旅行」61.9%となった。「性別」でみても、1 位と 2 位は同一の結果となっている。

「年代別」でそれぞれ最も回答が多いのは、「買い物」だが、2 位は「75 歳以上」で、「通院」61.9%、「レジャー、旅行」が 45.5%と、2 位と 3 位の順位が入れ替わっている。

(3) 運転に対する不安について

【問34】現在、車の運転に不安はありますか。(複数選択)



問31で運転免許証を「持っている」と回答した方 1,180 人に、「現在、車の運転に不安はありますか。」と質問したところ、最も多かったのが、「不安はない」58.4%となった。

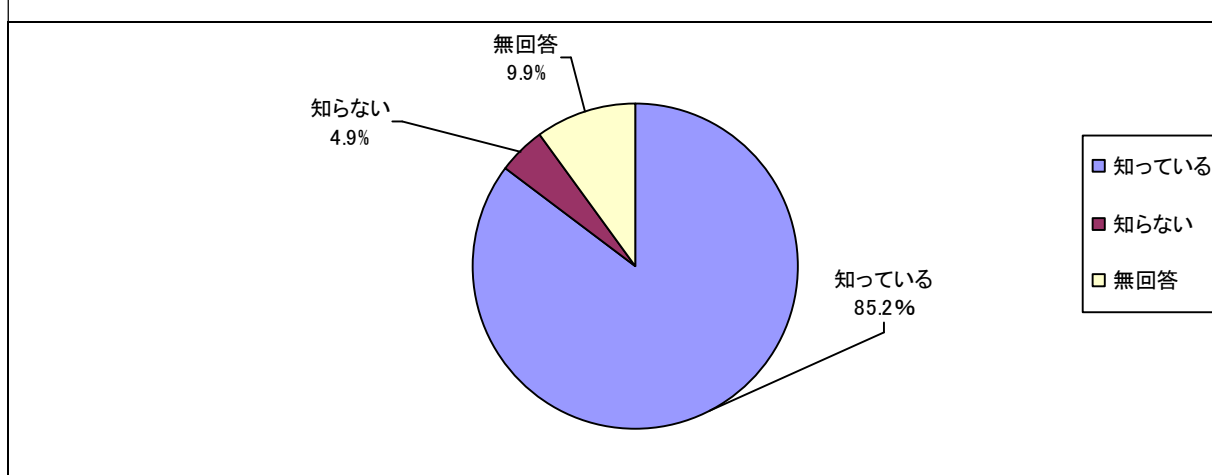
反対に、「全体的に不安である」は 14.1%となっている。

「性別」「年代別」からみて、「不安はない」が、「男性」は「18 歳～24 歳」を除く 25 歳以上が 64.0%以上と高くなっている。「女性」は「不安がない」で 60%を超える年代はなく、最も高い「50～59 歳」で 50.5%となっている。

「全体的に不安である」の回答率が最も高いのは「男性」では「18 歳～24 歳」20.0%、「女性」では「25～29 歳」の 42.1%となっている。

(4) 運転免許証返納制度について

【問35】「運転免許証返納制度」を知っていますか。(1つ選択)



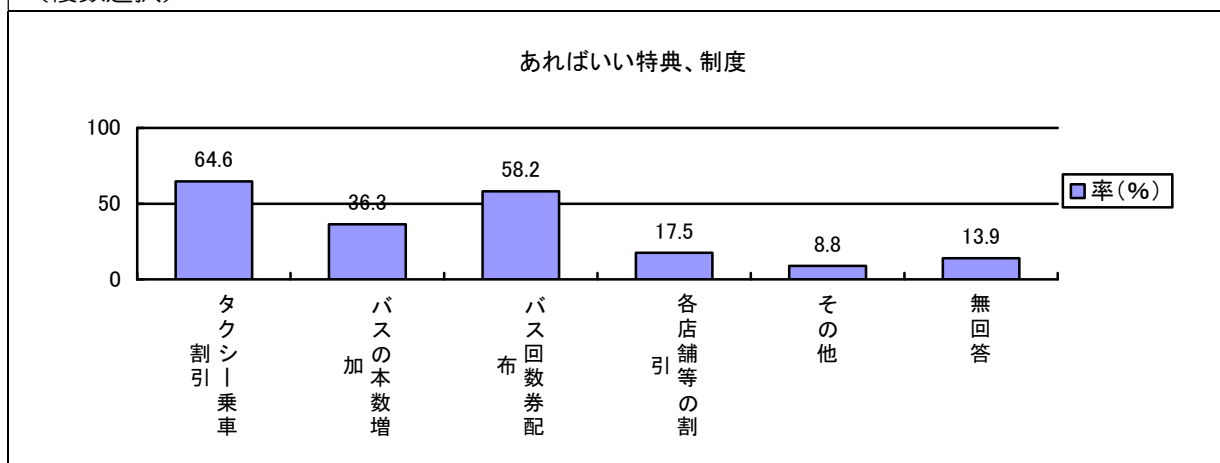
◎運転免許所返納制度 「知っている」は 85.2%

「運転免許証返納制度」を知っていますか。」という設問で、全体の回答は「知っている」が85.2%、「知らない」が4.9%、「無回答」9.9%だった。

「年代別」でみると、「知っている」が一番高いのは「50～59 歳」の93.5%、続いて「40～49 歳」の92.0%、「30～39 歳」の90.0%と上位3位までは9割を超えている。

「知らない」が高い「年代」は「18～24 歳」16.7%、「25 歳～29 歳」16.0%となっている。

【問36】運転免許証を返納するには、どのような特典や制度があれば良いと思いますか。
(複数選択)



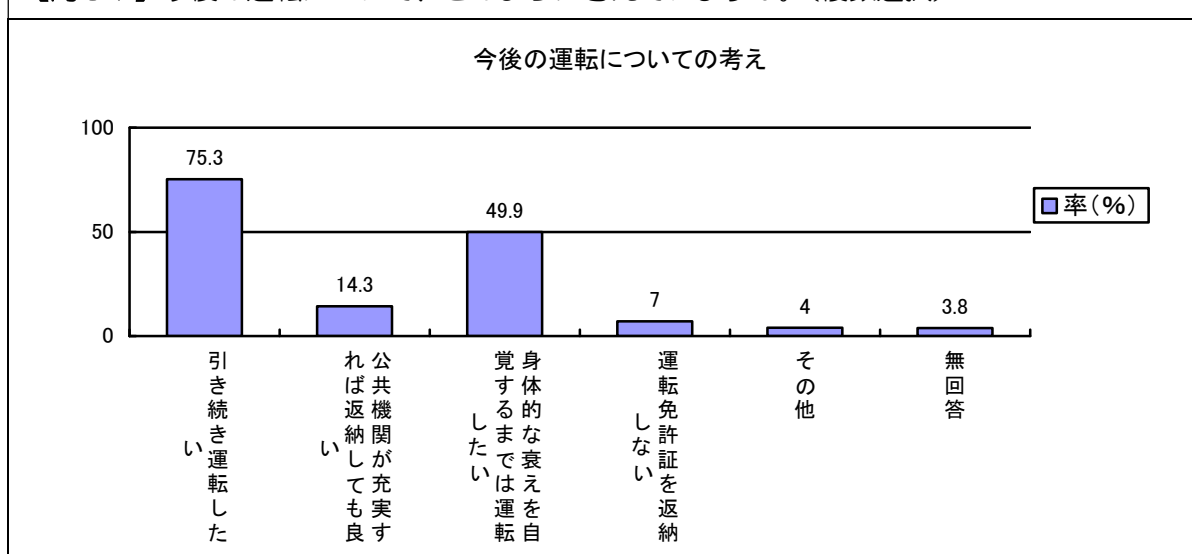
◎あればいい制度の1位は「タクシー乗車割引」

「運転免許証を返納するには、どのような特典や制度があれば良いと思いますか。」という質問をしたところ、全体の回答は1位「タクシー乗車の割引」64.6%、2位が「バス回数券配布」58.2%、3位が「バスの本数が増えたら」36.3%となっている。

「性別」や「年代別」においても上位3位の項目は同一になっている。

しかし、「地域別」でみたところ、「大谷地域」「杉久保地域」「本郷地域」では、1位は「バス回数券配布」、2位「タクシー乗車の割引」となり、順位が入れ替わっている。

【問37】今後の運転について、どのように考えていますか。(複数選択)



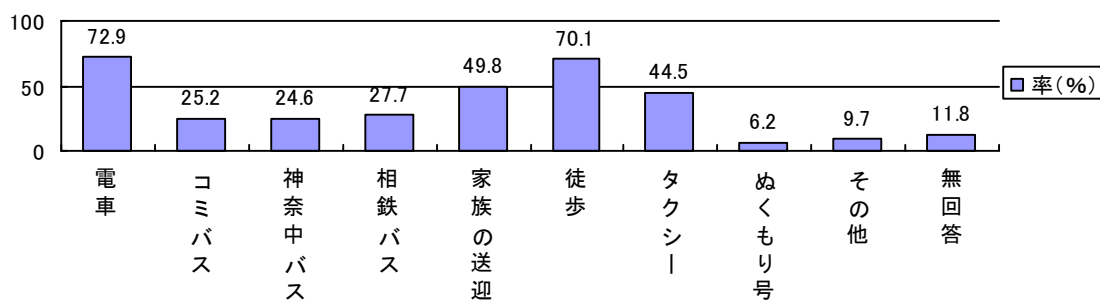
◎引き続き運転したいが約 6 割

問 3 1 で運転免許証を「持っている」と回答した方 1,180 人に、「今後の運転について、どのように考えていますか。」という質問をしたところ、1 位は「引き続き運転したい」75.3%となっていて、ほとんどの方が「引き続き運転したい」と答えていて、「身体的な衰えを自覚するまでは運転したい。」49.9%と、半数の方が答えている。

「運転免許所を返納しない。」は全体で 7.0%だが、「年代別」では「30～39 歳」が最も多く、10.9%となっている。「公共機関が充実すれば、運転免許証を返納してもよい」の項目では「75 歳以上」の回答率が最も多く、25.0%となっている。

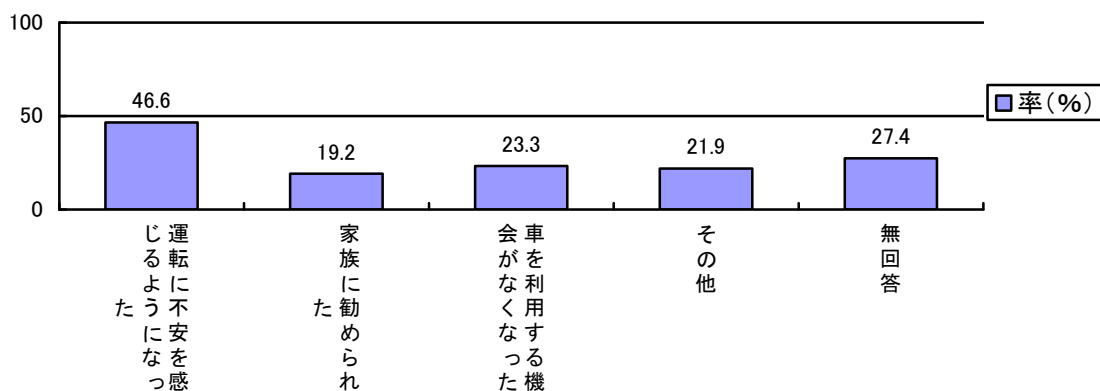
「地域別」でみると、「本郷地域」が「引き続き運転したい」が最も高く 87.5%で、また、「身体的な衰えを自覚するまでは運転したい」が、71.9%と 1 地域だけ高い回答率となっている。

【問 3 8】 運転免許証を持っていない方と返納された方は、車以外の移動手段として、何を利用していますか。（複数選択）



問 3 1 で運転免許証を「持っていない」と回答した方 321 人に、「車以外の移動手段として、何を利用していますか。」と質問したところ、1 位「電車」72.9%、2 位「徒歩」70.1%、3 位「家族の送迎」49.8%、続いて「タクシー」44.5%、「相鉄バス」27.7%となっている。

【問 3 9】 運転免許証を返納された方。
返納されたきっかけは何でしたか。（複数選択）



問31で運転免許証を「持っていない」と回答した方321人のうち、「返納した」と回答した方73人に、「返納されたきっかけは何でしたか。」と質問した。73人の「性別」の内訳は、「男性」40人、「女性」33人となっている。

全体の回答で最も多かったのは「運転に不安を感じるようになった」46.6%、次に「無回答」27.4%、「車を運転する機会がなくなった」23.3%、となっている。

「性別」でみたところ、「男性」は半数の50.0%が「運転に不安を感じるようになった」となっていて、その他の項目については20%未満となっている。

「女性」は、「運転に不安を感じるようになった」27.0%、「車を利用する機会がなくなった」21.6%、「その他」21.6%、「家族に勧められた」13.5%となっている。

※「地域別」の分析は、サンプル数が少なすぎるため行わない。



1 1 海老名市内の施設の知名度

【問40】あなたは、市内の次の施設を知っていますか。

- ・認知度（「知っている利用している」と「知っているが利用していない」の合計）

順位	項 目 名	
1	海老名運動公園	94.4%
2	文化会館	90.8%
3	中央図書館、有馬図書館	90.0%
4	コミュニティセンター、文化センター	89.9%
5	美化センター	82.3%

- ・利用度「知っている利用している」

順位	項 目 名	
1	美化センター	54.7%
2	中央図書館、有馬図書館	46.9%
3	海老名運動公園	40.7%
4	文化会館	37.7%
5	コミュニティセンター、文化センター	32.2%

- ・認知度ワースト5「知らない」

順位	項 目 名	
1	今里庭球場	68.6%
2	中野多目的広場	66.3%
2	下今泉庭球場	66.3%
4	かしわ台連絡所、東柏ヶ谷連絡所	64.0%
5	中野公園	63.1%





海老名市政アンケート調査

〈平成29年度調査〉
平成29年9月発行

調査実施及び発行 海老名市役所 市民協働部地域づくり課市民相談室
〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1
Tel 046-235-4567
